

# JERCO REPORT

2021  
第35号

質の高いリフォームを提供し、事業者の明るい未来を創造する。



一般社団法人  
日本住宅リフォーム産業協会

- ・ジェルコ 全国6支部で支部大会を開催
- ・第3回 ジェルこまち DAY 2021 @ ZOOM
- ・第29回 住宅リフォーム市場動向・景況感調査
- ・リフォームでの石綿対策義務化のポイント



JERCO  
REPORT  
No.287

発行日 2021年10月(創刊1985年1月)  
発行所 一般社団法人 日本住宅リフォーム産業協会  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-3-2 佐藤ビル 3F  
TEL: 03-5541-6050 FAX: 03-5541-0127 URL: <http://www.jerco.or.jp>  
年間購読料 一部 / 500円(税込)

# □■ ジェルコアライアンス ■□

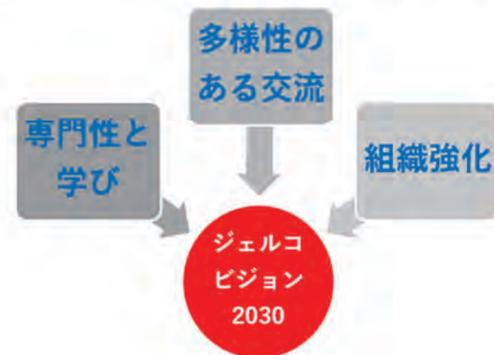
## JERCO VISION 2030

質の高いリフォームを提供し、  
事業者の明るい未来を創造する

ジェルコ活動3本の柱は、ジェルコビジョン 2030 を達成するためのもの

### ジェルコ活動3つの柱

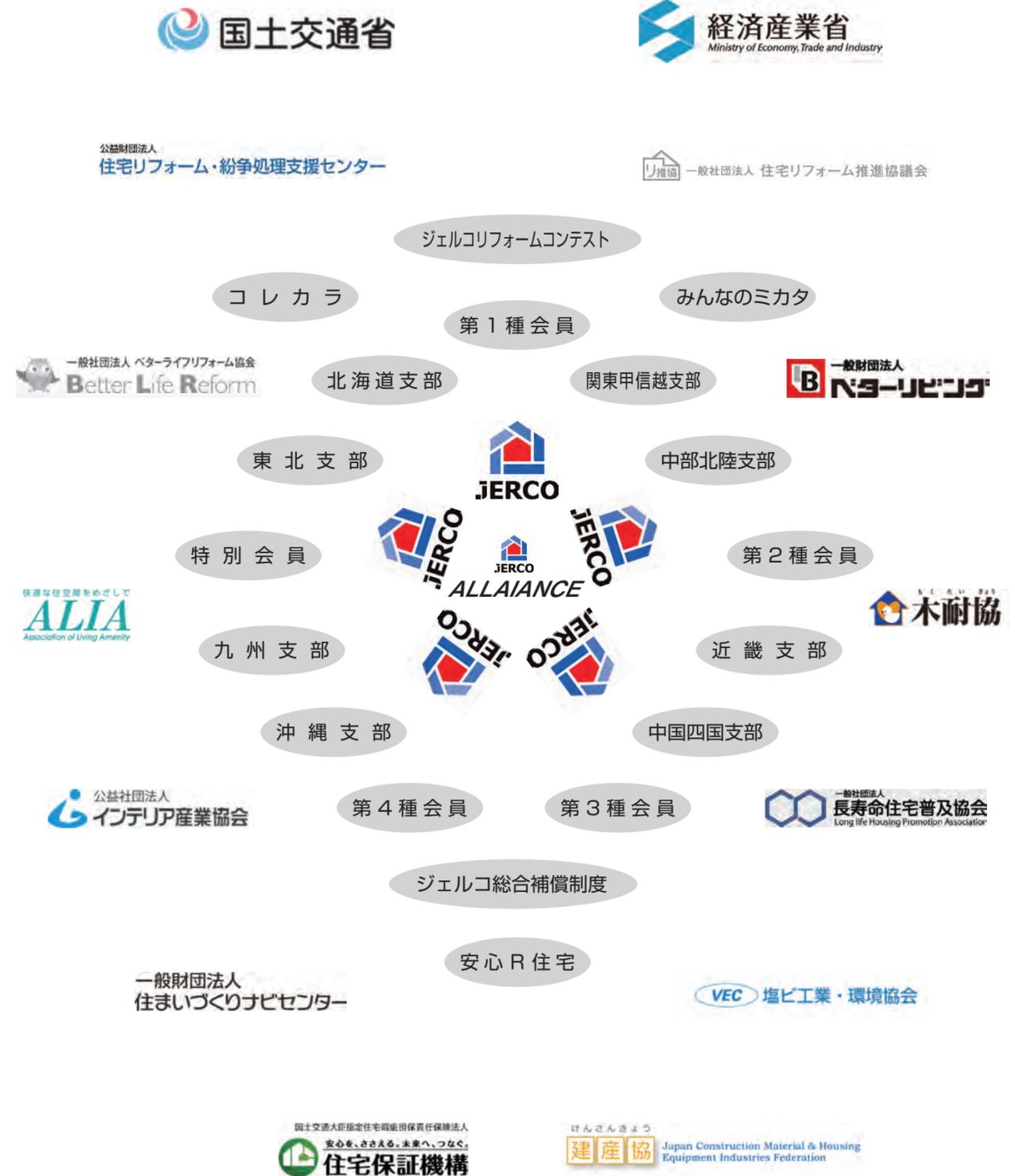
しっかり学び・しっかり交流し・しっかりした組織で支える



**ジェルコはSDGsを推進します！**

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで定められた、2016年から2030年までの達成を目指す国際目標のことで、17の目標と167のターゲットのこと。

世界規模で進めるSDGs活動は、人々の進むべき方向を示しています。SDGsの目標達成のために私たちにできることを共に考え行動していきましょう。



# JERCO REPORT

一般社団法人 日本住宅リフォーム産業協会 (JERCO)

## CONTENTS

No.287 2021年 第35号

CONTENTS / 巻頭コラム	3
ジェルコ 全国6支部で支部大会を開催 ①北海道支部	4
②東北支部	6
③中部北陸支部	8
④近畿支部	10
⑤中国四国支部	12
⑥九州支部	14
第3回 ジェルこまち DAY2021@ ZOOM を開催	16
委員会活動報告	22
2・3・4種会員PRコーナー	29
第29回 住宅リフォーム市場動向・景況感調査	31
リフォームでの石綿対策義務化のポイント	36
<最新版> ジェルコサービスファイル	38
新入会員紹介	40

### ■ ■ ■ 巻頭コラム 「会員増強を考える」

2020年4月から、沖縄支部事務局を有限会社サニマイト内に移動し、その役を担って1年、高良支部長の指示・助言の下で事務管理に務めております。

昨年から続くコロナウイルス禍にあって、リフォーム業界も施主様対応を含め少なからず影響を受けており、本部主催の会議やセミナー等もウェブ実施が主で、同様に面談での支部会議も容易ではなく、会員同士の意思疎通も希薄になる懸念があります。

その中であって、沖縄支部の喫緊の課題は会員拡大策ではないかと考えます。現状は、1種2種及び3種含めて15企業で支部が構成され、その内：リフォーム事業所は7企業に留まる。一般の見込み客へのジェルコ組織の認知度・信頼度も不

透明の状態ではないかと思えます。

沖縄支部への会員加入を図る方策の一つとして、本部主催の各種セミナーの充実は勿論ですが、当地でリフォーム事業者向けセミナー等を開催したり、会員が加入し援用できる保障制度等をアピールし、ジェルコ加入したくなる沖縄支部になればと思います。

期待出来る効果として、JERCO 会員企業の信頼度の向上、会員企業間の切磋琢磨による相乗効果、延いては支部運営も活性化し、会員企業のモチベーションも向上するのではないかと考えます。

\*生意気な面をお許し下さいませ。

(沖縄支部事務局 宮里 和美)

= 北海道 支部 =

## 第13期 JERCO 北海道支部 支部大会

### 北海道4ブロックでの活動を目指し会員増強に注力



7月7日に開催された北海道支部大会で今期の会長方針を披露する盛会長

昨年は新型コロナウイルスの影響で支部大会は開催できず、上半期はほとんどの活動が停止しました。下半期からはオンラインの活用により役員会を開催し、少しずつ活動ができるようになりました。

これまで北海道支部の活動を陰に陽に支えてくれた、北海道住宅新聞社の白井さんも12期末をもって事務局を卒業され、本部事務局が北海道支部事務局を兼任し、13期は新たな体制での出発となりました。

5月の支部定例会は初の完全オンラインでの開催。サポートメンバーを含む12名

がご参加してくれました。ここでの収穫は、これまでの活動は札幌でのリアル開催だったので、札幌以外の会員さんはほぼ参加いただけませんでした。オンライン活用により道東からの参加もいただけるようになりました。

7月7日には昨年できなかった支部大会をハイブリッドにて開催企画をし、本部からも盛会長、北方常務理事、森山委員長をお招きし、基調講演は会員増強を目的に株式会社アルダグラムの木村氏にもリアル参加いただきました。過去の増改築相談員研

修出席者に向けてセミナーの案内をして、4名の方からお申込みをいただきました。

当日は、新谷支部長の開会挨拶、支部活動報告に始まり、事務局からは本部総会の模様を報告しました。今期6月に入会いただいた株式会社エントランスさんについては、入会申込時に訪問いただいた荒井副支部長にご紹介をいただきました。北方常務理事からのご挨拶の後、盛会長より今期の会長方針をご披露いただき、第1部は終了。

2部では「顧客&従業員の満足度が上がるITの活用方法」として、株式会社アルダグラム木村氏の講演。若い方の最近のIT活用動向などお話しいただき、50代60代の参加者は、何度も目が点になるお話で、年齢別マーケティングの必要性を痛感した内容になったと思います。

申込みのあった非会員の4名の方とは残念ながら交流はできませんでしたが、ジェルコ会員の大きなメリットとなるジェルコ総合補償制度について、本部体制整備委員会の山本委員に解説をいただき、支部大会を終了しました。

5月の定例会の参加者は12名でしたが、今回はリアル参加10名、オンライン参加12名の合計22名の出席となりました。道北の旭川からも11期末にご入会いただいたCOMDORの大西社長がリアル参加をいただき、道東の帯広からもオンラインで2社参加いただき、1種会員は23社中10社が参加いただけました。

北海道支部は九州支部に習い、サポートメンバー制を導入しており、22社中4社が出席してくれました。支部大会後には、サポートメンバーの「住まいのサポート21」さんが建設業許可を取得されたので正会員となりました。サポートメンバーの育



(株)アルダグラムの木村氏による基調講演

成が会員増強につながることを実感した瞬間です。

まだまだ定例会の参加率は高くありませんが、入会候補リストの充実、また魅力ある支部運営をすることで会員が増え、活気ある支部にしていきたいと思っています。

北海道支部は、道央（札幌中心）、道東（帯広中心）、道北（旭川中心）、道南（函館中心）の4つのエリアに分かれますが、現状は道央に会員が集中しており、他の3エリアにもブロック制を敷いて、ブロック活動ができるようになることが新谷支部長の長年の野望で、一昨年道東ブロックを立ち上げました。オンラインの普及により、ブロックを越えた活動も可能になりましたが、先々は道北ブロックの立ち上げができればと思っています。またさらに先には、まだ会員のいない道南でも会員増強の計画を立て、4ブロックで活動できる日を夢見ています。

9月の定例会は非常事態宣言下ということもあり、また完全オンラインの定例会になりますが、11月はハイブリッド開催をしてアフタージェルコで盛り上げたいと思っています！

13期も残り半分を切りましたが、北海道支部は道産子魂で頑張っていきます！

= 東北支部 =

## 第13期 JERCO 東北支部 支部大会

### 経営者とジェルコ、両目線に立った記念対談



東北支部大会は7月29日、宮城県パレスへいあんにて開催された

2021年7月29日、第13期 東北支部大会を、宮城県パレスへいあんにおきまして開催させて頂きました。

昨今新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、昨年の支部大会は中止となり2年越しの支部大会を開催する為、東北支部加盟各社様ご協力のもと準備して参りました。宮城では緊急事態宣言やまん延防止対策等発令はされておりましたが、会場等含めましてソーシャルディスタンスを心掛け密にならない様会場セッティングなど行いました。

司会は名司会者の真栄工芸(株)の熊谷様にお願いしました。さすが司会進行は完璧にこなして頂きました。

先頭バッターは我ら東北支部高橋支部長

です。昨年のご挨拶と今年の意気込みを熱く語って頂きました。昨年就任1年目にも拘らずコロナ禍の影響で他支部の皆様とも交流が出来ず、東北支部の皆様とも半分ほどしか会えず、寂しい一年を過ごされたそうです(泣)。ですが、今期はコロナ禍では有りますが頃合いを見て活動をしていきたいとの事でしたので今後の東北支部に乞うご期待!

続いて東北支部12期の活動報告並びに会計報告を13期の事業方針発表を事務局より行いました。昨年はコロナ禍でたくさんイベントが中止となりました。ですが、支部でも試行錯誤し、何とか開催出来たイベントも有ります。13期の事業方針発表でも有りましたが、いくつかのイベン



(株)感動ハウスの高橋会長とJERCO盛会長による対談

トを用意しております。皆様に参加して頂けるようネットを使いZOOMなどでも皆様にお届け出来たらなと思っております。

さてさて本番はこれからです、盛会長より13期本部活動方針を宣言して頂きました。ジェルこまち（女性活躍）やSDGsなど今後考えなければいけない問題、特にネットを駆使した会社運営（電子契約書やSNS集客、ペーパーレス化など）などさすが盛会長と言う発表でした。今後会社を維持していくにはネットが鍵になってくると感じました。

続きまして新役員就任されました北方寛常務理事に就任の御挨拶を頂きました。尺の都合上大幅にお話し延ばして頂き大変助かりました。

そしてメインイベント、支部大会記念ビッグ対談。(株)感動ハウスの高橋会長とJERCO盛会長による対談です！

対談では、お二人の経営者目線、盛会長は経営者+ジェルコ目線でお話し頂きました。流石お二人、壇上に上がると目が一瞬で変わり、熱いトークを繰り広げて頂きました。時折会場の皆様に質問を投げかけ、意見や質問を聞き会場と一体となり、時に

笑いあいのテレビを見ているかの対談内容であったという間でした。

対談内容を纏めますと、

- ① 創業が長い割には会社の業容が伸び悩んでいる
- ② そもそも何でリフォームは儲からないのか？
- ③ 使える優秀な人材が入って来るのは無理なので諦める
- ④ 未だ社員の方々の定着率が低くて悩んでいる
- ⑤ 社員さんと社長の間に溝があり一体感が感じられない

皆様が抱えている問題を面白く、具体的に解説をして下さいました。

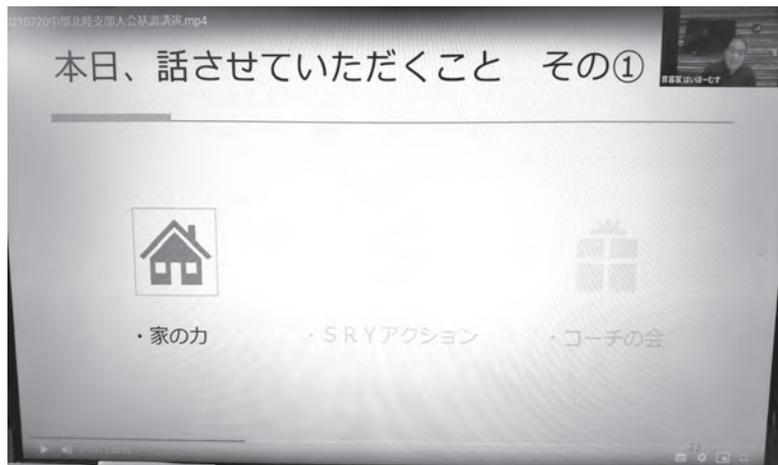
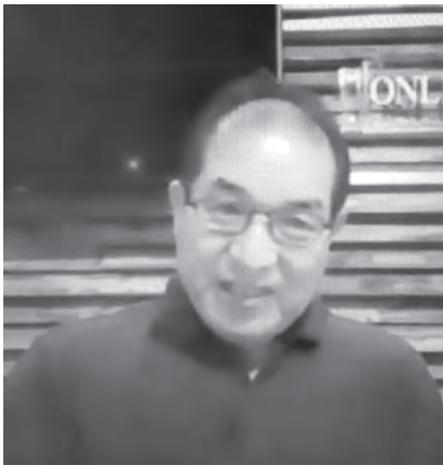
今回の記念対談を通じて自社に持ち帰り問題を1つ1つ解決して行くと言った声を多数頂きました。

13期もイベントやセミナーを通じて会社様に有益な情報提供や意見交換などで会社を盛り上げコロナ渦を乗り越える！をモットーに頑張っ参ります。

皆様にも引き続きJERCO盛り上げる為、ご協力の程何卒よろしくお願い致します。

= 中部北陸 支部 =

## 第13期 JERCO 中部北陸支部 支部大会 杉村氏によるジェルコ勇退の記念講演を実施



7月20日の中部北陸支部大会は新型コロナウイルス感染防止の観点からオンラインのみでの開催となった

中部北陸支部はコロナウイルス蔓延の関係で、今回の支部大会は対面によるリアル開催を一切行わず、オンラインのみの開催となり、7月20日の16時から開会。会員外からも5名に参加いただき、合計で22名の参加となりました。

基調講演はジェルコ13期副会長である、(株)育暮家はいほーむす 技術コーチ 杉村喜美雄氏にお話をいただきました。

杉村氏は今年度をもってジェルコの活動の区切りをつけ、後継者である(株)育暮家はいほーむす 代表取締役 寺坂磨氏へのバトンタッチをするという意味合いから、今回はジェルコ勇退の記念講演とさせていただきました。杉村氏の講演は「リフォームは『家の力』を引き出す仕事です」と題し、開催されました。

以下に杉村氏による講演の内容をご紹介します

します。

はじめに、杉村氏がこれまで携わってこられたジェルコの活動の歴史をお話いただき、また中部北陸支部存続の危機を脱したお話しをしていただきました。今の中部北陸支部が存続しているのも、杉村氏をはじめとするその当時のメンバーの尽力があったものと改めて感じました。

会社の方では、2年前に寺坂氏を代表取締役役に事業継承を進められたお話をいただきました。

そして、メインの「家の力」についてのお話をいただきました。

家という存在は、人を育て、そして家が人を幸せにするという考え方で、これまで携わった物件や杉村氏の考え方、提案によってどのように家の力を感じ、それを社員やお客様に伝えてこられたかをお話しい

**家の力**  
Home hospitality

SRYアクションという発想と共に

有縁家  
杉村富美雄  
2021.7.20

私たちが体験した2つの事例をお話します。

「家の力」が成し得たことだと思ったリフォーム体験です。

命

きっと皆さんも経験があるかと思いますが

杉村氏の講演「リフォームは『家の力』を引き出す仕事です」

ただきました。

また、SRY アクション（住まいに関わるリスクを予知し、備える活動）を通じて、リスクとベネフィットが一对であるお話をいただきました。それはリフォームのビジネスチャンスを広げることに繋がる発想だと言うのです。

杉村氏は各地で起こった震災時に現地に赴き、被害状況なども確認されてこられました。そこで、屋根や外装リフォーム後と思われる家の屋根が飛ばされた現場を目の当たりにしました。

リフォームの会社はただ、お客様の住まいを要望通りにリフォームするのではなく、本当にリフォームでいいのか、今後も安心して暮らせるのかを考えて、あえてリフォームでは難しいと伝えることの大切さをお話されました。

リフォームは家が持っている力を引き出

ジェルコ中部北陸支部 支部大会 7月20日(火) 16:00

記念講演 復興事業はいほーむす技術コーチ杉村富美雄氏 (ジェルコ13期副会長) JERCO

**リフォームは「家の力」を引き出す仕事です。**  
The power of the House

ジェルコ勇退  
記念講演

ONLINE/90分  
事前予約制  
会員無料 会員外 ¥3,000

ジェルコと共に35年の育幕家はいほーむす杉村氏は2年前事業承継を済ませ、現在技術コーチとして新社長を支える。性能向上リフォームに力点を置き、積極的に地域村活用を進め、ウッドショックにも動揺しない地域に根差したリフォーム事業を実践中。

「家の力」が人を育て、人を幸せにする。新築し、出来立てのジェルコに入会。精進員講師を約20年、支部長を6年、副会長を4年目。そして今年でジェルコを引退する。今思う、住まいのリフォームとジェルコのこれからを振り返ります。

テーマは「家の力」出合った住まいとそこに住まうご家族との物語。そこで磨いた業が持つ力、建設的業の力を引き出すのは私たち。リフォーム現場の人模様。リフォームとは素晴らしい仕事はないと愛する1日に振り返ります。

■問い合わせ及び申し込み  
事務局 朝日ビルディング 601号 (井上)

JERCO 日本住宅産業協会中部北陸支部  
TEL 0568-82-8717 FAX 0568-82-8723 E-mail: k.inoue@living-kasugai.co.jp

す仕事だと杉村氏は言います。「家が力を失っていけば蘇らせ、もし力尽きていけば新しい力を吹き込んでいく」「家の力はハードとソフト」一つ一つ、家族にとって家の力がどのようなもので、その家の力どこにあるのかを導き出すのは私たちです。「家の力が備われば、様々なリスクから家や暮らしを守ることになる」と強調されました。

中部北陸支部では、こんなに素晴らしい会員企業さんがいて、会員全体で交流を図っております。

現状では、新型コロナ禍でリアルなセミナーができずに難しい部分もありますが、ジェルコ会員さんで、セミナー等にあまり参加されていない企業さんは、オンラインになると参加しやすいというメリットもあります。

是非今後はお気軽にジェルコ活動にご参加いただければと思っております。

= 近畿支部 =

## 第13期 JERCO 近畿支部 支部大会

### 「VUCA」時代をテーマとした基調講演を実施



7月6日にTDY大阪コラボレーションショールームで開催された近畿支部大会

2021年7月6日にTDY大阪コラボレーションショールームにおきまして第13期一般社団法人日本住宅リフォーム産業協会近畿支部大会を開催させていただきました。

当初は例年通り、近畿支部会員はもとより各社スタッフ・増強の意味も含め非会員の方にも参加していただこうと考えておりましたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、会場側とも相談して感染対策を行なった上の規定人数内で開催しました。また、昨年は新型コロナウイルス感染拡大を鑑みて支部大会を中止するという判断をさせていただきました。今年度は少しでも多くの方に近畿支部における活動の報告を聞いていただきたいためZOOMでの配信を同時に行いハイブリッド形式での開催としました。昨年より定例会及びリフォームコンテスト近畿支部表彰式もZOOM配信と同時に行っておりコロナ禍収束の後も

非常に良い試みではないかと思えます。

さて、近畿支部大会におきましては近畿支部矢島支部長より13期の近畿支部の事業方針の発表、事業内容や事業の日程の報告、また近畿支部が活動してきている行政との取り組みに関しても大阪府住宅マイスター制度、兵庫と奈良の健康省エネ住宅を推進する県民会議に関する報告等もさせていただきました。

特に大阪府住宅マイスター制度に関してはその座長を今年度も（一社）日本住宅リフォーム産業協会近畿支部が請け負うこととなり、昨年度に実施した空き家対策やアスベスト対策のセミナー等の開催報告などがありました。また、盛本部長より13期の本部方針など今後のジェルコ活動の方向性をお話しさせていただきました。

例年、近畿支部大会では基調講演を行なっておりますが、今年は(株)さくら事務所



(株)さくら事務所代表取締役の大西倫加氏を講師に迎え、VUCA時代についての基調講演を行った

代表取締役の大西倫加氏を講師に迎え、新型コロナウイルスの影響や「SNS」の普及、少子高齢化、温暖化による気候変動など不確実な時代が到来している今におけるテーマとして『VUCA（Volatility = 変動性・Uncertainty = 不確実性・Complexity = 複雑性・Ambiguity = 曖昧性）時代に強いチームの作り方』という講演内容でお話ししていただくこととなりました。

講演の冒頭では、今までの経歴紹介に始まり現在のコロナ禍における市場背景やリモートワークの現状、VUCA時代の思考や行動についての考察などをご教授いただきました。その後、現在経営されている(株)さくら事務所における実践例として、男女比率から事業継承・雇用形態、コアタイムなしのフルフレックス導入、全国各地でのフルリモートメンバーの雇用、就業時間までも完全自由な成果管理、高齢者の積極採用など、今の時代に合わせた経営スタイルをご紹介していただきました。

また、経営者の仕事とは笑顔をつくり、機会をつくり、仲間をつくることだとお話しされ、ビジョン・ミッションを明確にして依頼社・会社・自分・業界・社会の五方良しの考えで笑顔を作っていくこと、コー

チング的1 ON 1を通して個人としての働き方、新たな業務を発掘していくことの重要性、なんのために働くのか・人生はどうありたいのかで仲間を作っていくことなど、経營業務における具体例をお話しいただきました。

最後に、アフターコロナにおける働き方は個人・スモールビジネスの到来・職能や雇用がなくなるなど、働く自由/働かない自由もあるのでは無いかと考えを述べられました。ビジネス環境や市場の変化、組織と個人のあり方の多様化など、将来の予測が困難な時代だからこそその考え方なのでは無いかと思います。リフォーム業界とは少し異なりますが、これからの時代を強く生き抜くためには会員の皆様にとっても非常に有益な講演ではなかったでしょうか。

13期におきましては現在もなお、新型コロナウイルスの影響を受けて支部定例会等また本部活動もオンラインのみでの開催があります。収束の目処も立っておらず、元のように今後集まることもできるかもわかりません。

その中でも有益な情報の提供をして、一つでも会員の方にメリットが出るような支部活動を行なっていきたいと思っております。





潜水艦や護衛艦などが投錨するアレイカラス小島



護衛艦「かが」の浴室

にお話ししていただいたのですが、完成見学会なども今からはもっとオンライン化が進むのでしょうか。不動産関係も物件が写真ではなく360°回転の動画で室内を見れるようになってきています。何度もあちこち足を運ばなくてもある程度オンラインで進め、最後の最後でリアルにという流れになるのでしょうか。

今期の支部大会はオンラインでも多数の会員の方に参加していただくことができ、この先も会場とオンラインのハイブリッド型が主流になると思われるので、しっかりZOOMでセミナーの開催方法も勉強しないとイケませんね。会員企業の皆さんの皆様もオンラインでの打ち合わせが増えてきていると思います。

でも、やっぱり人恋しいというか、目の前でお話しすると話が盛り上がるのに、画面越しではなかなかうまく言えなかったり発言のタイミングが難しかったりということもあり、現地に来ていただけるなら、お会いして話したいなと思います。支部の会員さんはカープファンも多いので、「近いうちにみんなで応援行きたいですね〜」「支部大会後の懇親会をカープ観戦にしますか？」なんて言っていたのにコロナ……

そうこうしているうちに広島県も緊急事態宣言。そして延長……

支部大会の話題だけでは2Pの持ち分が消費できないので少々脱線させます。

コロナ禍が落ち着いて、セミナーにも現地参加できるようになったら、ぜひ泊りがけで来てくださいね。翌日、呉でのんびりしませんか？大和ミュージアムもいいですけど、私はアレイカラス小島が大好きです。潜水艦や護衛艦、運が良ければ輸送艦3隻も目の前にいます。いずも型護衛艦「かが」が帰ってきているときはやっぱり圧巻ですね。

3年前の西日本豪雨災害時、自衛隊が護衛艦などの船の浴室を市民に開放してくれました。私も2日「かが」のお風呂に入浴させてもらいました。そんな潜水艦基地前のカフェのテラス席で、一緒にピザ食べましょう！平日ランチタイムにピザ食べ放題なんですよ。この世界の片隅にの聖地巡礼もできますよ〜私の小さな車で夕方まで一緒しましょう。帰りは広島駅までお送りしますので、そこでお好み焼きを食べてお別れしましょう。

早く皆さんに会える日を楽しみにしています！！！！



開催日：2021年7月2日(金)  
リアルとオンラインのハイブリッド開催



九州支部 支部長の鈴木です。  
九州支部の第13期のスローガンは、「**ジェルコと共に素晴らしい人生を歩もう**」です。

第13期の重点方針は  
会員各社が、業界、地域で  
なくてはならない存在になる！  
など6つの方針を  
提案しています。

ゴルフに行きたい人募集中！

魚釣りにツーリング・・・  
楽しいことも我が人生！  
タキガワ食堂も好評につき、  
時々開店しています！



副支部長の武谷です。  
性能向上委員長も兼務しています。  
委員会の主目的は、住宅の性能を  
アップさせるための  
建築工法・資材等の研究です。

最近手作り家具の  
販売もやってます。  
大人気で完売続出です！



事業委員会委員長の吉松です。  
我が委員会の主な目的は  
「増改築の最新情報を学び、  
資格を取得し、  
レベルアップして頂く」  
ことです。

増改築相談員研修会等において  
ジェルコ九州支部事業収益の確保に努めます。  
第13期は緊急事態宣言発令の前日の  
開催となり、直前キャンセルも多く、  
32名の受講でした。(涙)



ガーデニングも  
勉強しました！

不動産リノベーション研究委員会  
委員長の松元です。中古住宅流通と  
ワンストップによるリフォーム、  
リノベーションを目指しましょう！



コンテスト実行委員会の平島です。  
九州支部では全国のコンテストに  
プラスして九州支部のコンテストも  
実施しています。

本部へエントリー  
された作品と  
同じ作品で九州支部にも  
エントリーできますよ！  
11月26日に予定している  
表彰式！リアルで  
集まれるといいですね。

ガスリフォーム研究委員会  
委員長の高岡です。ガスだけでなく、  
未来の住環境を視野に入れ  
エネルギー全体を考えるぞ！

早速10月6日には、  
建築家の末光先生の基調講演  
「これからの環境に優しい住まい」を  
ZOOMで開催！



総務委員会 委員長の  
長野です。会員相互の  
交流をし信頼を深めるため  
に頑張ります！

明るい未来が  
待っていることを実感！  
ファイティン♪

九州支部のみなさんは  
各委員会の委員長さんたちが、  
年間の事業計画を発表し、  
積極的にジェルコ活動に  
取り組まれている様子が  
伝わりましたよ。



♡第3回 ジェルこまち DAY2021@ZOOM

## 女性視点で日本の課題に取り組むジェルこま치의活動



9月14日にオンラインで開催した「第3回ジェルこまちDAY2021@ZOOM」

リフォームビジネスにおける女性の活躍を推進する“ジェルこまち”は、今年で発足から3年目を迎える。今年も昨年に引き続き、新型コロナ禍にあってもセミナーや交流会などを積極的に開催し、ジェルコ活動のなかでも高い存在感を示している。

今年のジェルこまちでは、「ジェルこまち in 鳥栖」や「まぶしい3名の女性の仕事の流儀：ジャンヌダルク」など、輝く女性たちの新しい情報を全国各地から発信。9月14日には「第3回ジェルこまちDAY2021@ZOOM」を開催し、女性視点ならではの「マーケティング」や「リノベ-

ション」、「総務部」、「SDGs」、「女子活」、「学びと仕事」など、リフォーム業界のみならず日本が抱える様々な課題について、北海道から九州まで全国各地の女性たちによる取り組みをZOOMで配信した。

第3回ジェルこまちDAY2021@ZOOMは3部構成で開催。第1部では(株)ハー・ストーリーの代表取締役である日野佳恵子氏を講師に迎えて基調講演「暮らしとリフォームの女性視点マーケティング」を行った。続いて第2部では、(株)アルティザン建築工房の武田友子氏や(株)ワイドアルミの荻野みき氏、三承工業(株)の寺田有希実氏、(株)カ



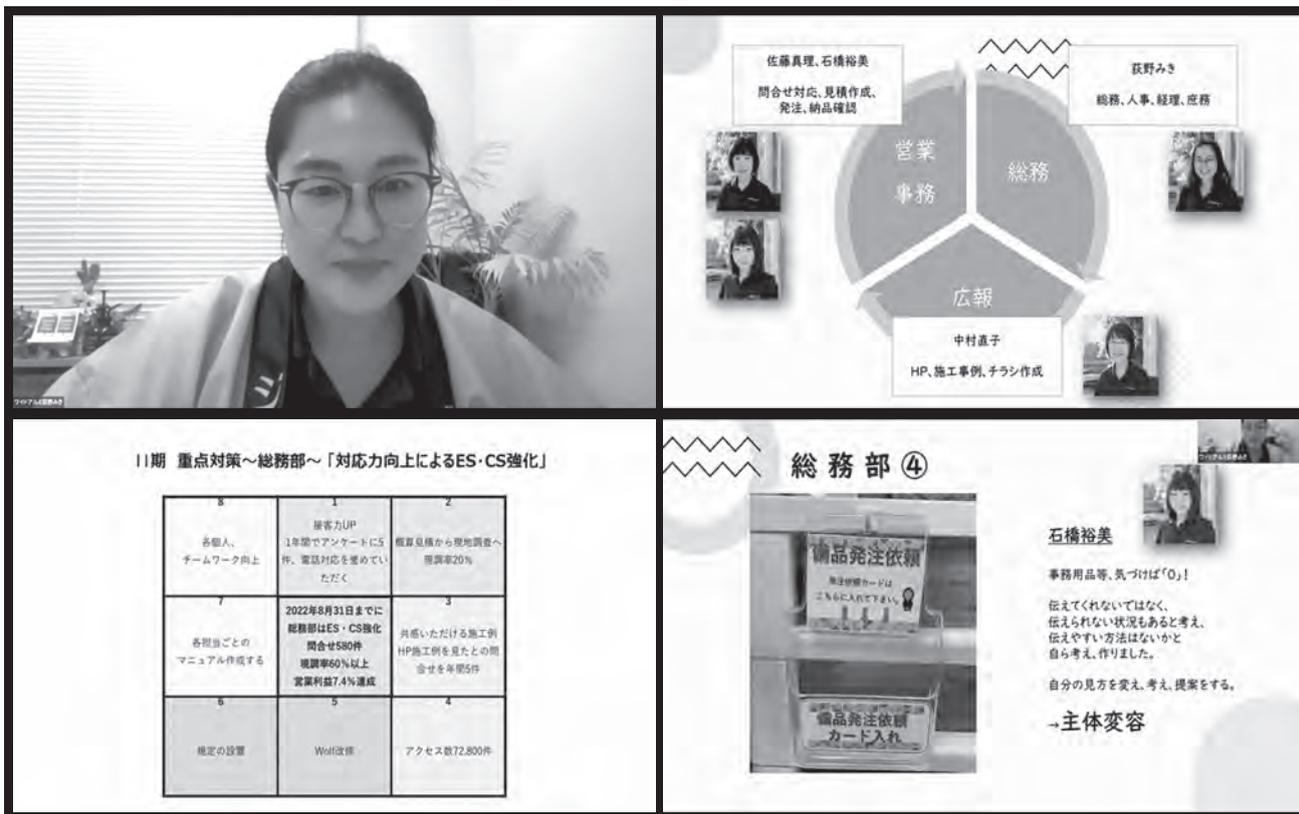
(株)アルティザン建築工房の武田友子氏による講演 「女前Re・Innovation」

スケホームの岡田奈津美氏・西山智絵氏、(有)松田住宅機器の細溝しい奈氏ら、ジェルコ会員会社5社の代表者による講演が行われた。第3部では、ジェルこまちWGメンバーである主森直美氏の司会で「だめなのは、私だけじゃない！～失敗から学ぶノウハウ」と題したフリーセッションで参加者・閲覧者の全員による意見交換を行った。

女前Re・Innovation

続いて第2部では、ジェルこまち発足の仕掛け人夕部副会長から今年も、ジェルこまちへの熱い想いを参加者の皆様に向けて語られスタート。ジェルコ会員会社5社の代表者による講演が行われた。トップバッターは北海道から(株)アルティザン建築工房の武田友子氏による講演「女前Re・Innovation」。武田氏は講演の冒頭でアルティザン建築工房の理念である、次世代のゆとりある

暮らしを見据えた高性能で住み心地の良い家づくり「Re・Innovation house」を説明した。続いて、顧客の層や北海道エリアの経済事情を紹介するとともに、より多くの層が住宅を取得しやすくなる提案として、性能向上リノベーションを前提とした物件探し・既存構造材を出来るだけ再利用した古屋別の提案・長期優良住宅化リフォーム推進事業など補助金の活用・常設モデルや建売をつくらないオープンハウスでの追客について解説した。続いて、講演タイトルにある「女前」について、「笑顔が素敵」「ポジティブ思考」「気遣いができる」「偏見を持たない」「度胸がある」など10の特徴を挙げ、こうした女性の意見が色濃く反映された建築事例として、家族の気配を感じる間取りをテーマにした建築事例と、家事動線を意識した、省エネをテーマにした建築事例を紹介。最後に、共働き・子育て世代の増加により建設費



## （株）ワイドアルミの荻野みき氏による講演「総務部からの発信」

や光熱費のランニングコストを抑えた家づくりが主流になりつつあることを指摘し、そのキーマンとなるのが「妻」であることを強く訴えた。

### 総務部からの発信

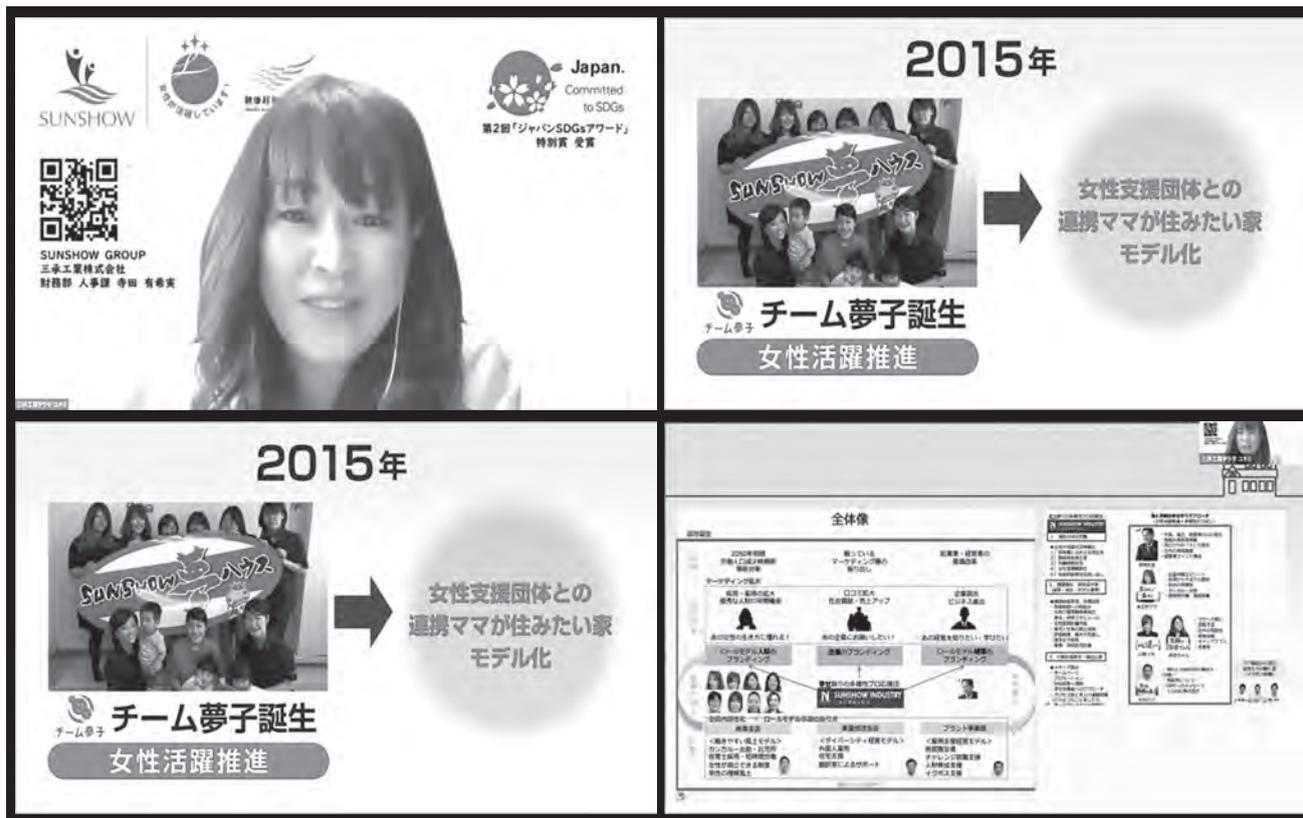
#### 女性だけの部署で営業・工事をバックアップ

二番手は関東甲信越から（株）ワイドアルミの荻野みき氏による講演「総務部からの発信～女性だけの部署で営業・工事をバックアップ」。荻野氏は講演の冒頭で自社の紹介を行うとともに、女性4人で構成している総務部の仕事（営業事務・総務・広報）を紹介。実務で営業と事務の両方に携わった経験を活かして作成された目標達成を可視化するツール「オープンウィンドウ64」について解説し、やらされているのではなく、各自が考えて自立的に動く自立型人間になることが重要であると述べた。また、総務部で実際に設定した目

標「対応力向上によるES・CS強化」の項目やそれを実現するための実践的な行動について紹介した。続いて、利益の向上につなげるための手法として、問合せ一覧や未成工事支出金（仕掛品）、邸別収支一覧、施工事例などのデータを紹介した。また、中期経営計画を公表し、予算書・資金繰り表やES活動費などの目標達成に必要な要素、人材育成の計画について紹介した。最後にES（従業員満足度）活動やOJTをメインとした人材育成など自社の取組みを紹介するとともに、その結果として意識変革や気付きなどの具体的な実践例も紹介。社内外の仕事で想像力を磨いていくことが事業全体の活性につながると訴えた。

### 女性活躍×SDGs

三番手は中部北陸から三承工業（株）の寺田有希実氏による講演「女性活躍×SDGs」。寺田氏は講



### 三承工業(株)の寺田有希実氏による講演「女性活躍×SDGs」

演の冒頭で自身のプロフィールを紹介するとともにジェンダー平等に取り組む自社の活動を紹介。自身の出産・育児を通して、子連れ出勤など自社の働き方を改革し、女性活躍を推進する「チーム夢子」を発足させ、これを契機に社内全体の働き方改革を推進。2018年には建設業初となる「ジャパンSDGsアワード」で特別賞を受賞している。

講演では「女性活躍推進の動機」「具体的取り組み事例」「新たなステージへ」の3項目を紹介。出産や育児をきっかけに、女性が中心となって仕事とプライベートのバランスを最適化することで全社的な意識改革と働き方改革を実現することができる」と解説。その具体例として、ノー残業デーの設置やトイレの分離、子連れ出勤（カンガルー出勤）、キッズルームの設置など、育児をしながらでもフルタイムで働ける環境を整備した。こうした取り組みにより自社をブラック企業のような

体質から、生きがい・働きがいのある会社へと転換させることを実現している。また、その一方で男性中心の建築業界におけるジェンダー平等の実現や在宅ワークの実施、育児だけでなく介護も見据えた労働環境の整備など、SDGsに関わる取り組みについても紹介した。講演の最後では、女性活躍とSDGs推進の観点から自社の風土を見直すことで、女性だけでなく男性社員の意識や働き方に改革をもたらし、経済成長と働きがいを両立させることができると説明した。

### カスケの女子活

四番手は中国四国から(株)カスケホームの岡田奈津美氏・西山智絵氏による講演「カスケの女子活」。同社は「働きがいのある会社ランキング」において三年連続で受賞しているほか、講師の二人もジェルコリフォームコンテストの受賞者とし



## （株）カスケホームの岡田奈津美氏・西山智絵氏による講演「カスケの女子活」

で常連。講演の冒頭では同社のプロフィールと岡田氏・西山氏のプロフィールを紹介したほか、設計スタッフの業務や企画、活動について説明した。

同社では通常の設計業務以外に、企画広報、管理系、スキルアップLABの3つの業務を分担して行っている。これらは設計チームとして必要性の高い案件に対応するため専門性を高め、確実に実行するために設けられたもの。管理系は案件管理や備品管理、経費管理など実務的な内容となっている。企画広報では見学会の企画・管理・運営を積極的に行っている。地域密着型の同社では女性スタッフが施主と「ママ友」であるケースが多く、ランチ会（女子会）を行うことも多々あり、その場でイベントが企画されることもあるとのこと。また、2ヶ月に1回発行しているニュースレターではスタッフ紹介の際に手掛けた物件だけでなく、造作アイテムの紹介やイベント情報、料理

レシピ、プライベート情報、子供と一緒にの写真等を積極的に掲載するなど、自社の取り組みや設計スタッフの人となりについて、女性ならではの感性でPRすることにより施主との関係性アップが望めることを解説した。スキルアップLABは設計内容のブラッシュアップを行う業務で、建材・ディテール・社内外での勉強会などについて紹介した。また、今年初めての取り組みとして、設計スタッフと施主と一緒にエントリーする「カスケデザインコンテスト2021」を自社で主催しており、講演の最後にその入賞作品を紹介した。

### 学びと仕事と私

ラストは九州から（有）松田住宅機器の細溝しい奈氏による講演「学びと仕事と私」。講演の冒頭では、自身のプロフィールを紹介するとともに、これまで仕事を通じてどのような学びの場に自身が



(有)松田住宅機器の細溝しい奈氏による講演「学びと仕事と私」

出会ってきたかを解説。実家の(有)松田住宅機器に入社後、出産・育児をしながら手掛けたリフォーム事例やリフォームコンテストでの入賞など当時の写真を紹介しながら振り返った。また、5年前と今年のリフォーム事例を比較し、単なる設備機器の入替えから空間のプランニングへ至る提案力の成長過程を示し、この5年間でどのような学びを得たのかを述べた。細溝氏はデザインリフォームを学ぶため、仕事と育児をしながらインテリアコーディネーターの学校に2年間通い、企画書の作成方法やプレゼンの手法などを実践的に学んだ。また、2年の間に手書きパースと出会ったことにより、提案資料に自身の「想い」を込めることができるようになったと語り、手書きパースを使ったリフォームコンテストの応募用紙なども公開。インテリアコーディネーターの学校を卒業した後は、インストラクターコースに進学し、今年

10月からアカデミー認定講師として新たなキャリアをスタートさせることとなった。

講演の最後には、元々は仕事に活かすために学んだことが、思いもよらず別の道を開くきっかけとなったことから、学ぶことをライフワークにしていくことが重要と述べ、講演を締めくくった。

ジェルこまち全員集合！フリーセッション

第3部では、ジェルこまちWGメンバーの主森直美氏の司会でフリーセッション「だめなのは、私だけじゃない！～失敗から学ぶノウハウ」を開催。事前に集めた様々な質問に対し、夕部副会長をはじめとしたジェルこまちのメンバーがZOOMのカメラをONにして熱い意見を交わした。フリーセッションの最後には盛会長が意見を述べ、ジェルこまちDAYは盛況のうちに幕を閉じた。

# 委員会活動報告

## = 性能アカデミー委員会 =

### ジェルコ活動をサポートする 新社会に対応したスキームづくり

委員長 今井 猛

ジェルコ会員の皆様、いつもお世話になっております。

性能アカデミー委員会、委員長の喜多ハウジングの今井です。

コロナ禍で、なかなか皆さんとリアルでお会い出来ないのが寂しい限りですが、ウィズコロナの新社会に対応したスキームを作成しておりますので、ジェルコを充分活用して、是非、皆様のご商売のお役立てください。

では、今、行っている活動を5つに分けてお伝えします。

#### ① ジェルコSDGs

これからの時代は、社会性のある企業が生き残っていくと言われていきます。SDGsは、社会課題をビジネスで解決していくことです。ジェルコでは、3つの社会課題を解決します。

- 1) 職人不足への解消
- 2) ジェンダー平等への対応
- 3) 脱炭素社会への取り組み

これらを、皆さんの企業向けにホームページを作成し、年間1万円の管理料でリンクを貼れるようにします。

自社のホームページにSDGsのバナーを貼れるようにしますので、なかなか取り組めなかった方も今すぐ取り組みます。詳しくは事務局へ。

#### ② ジェルコリフォーム

オンライン勉強会として動画で学べます。これまでリアルだと社員教育も時間や費用の面で一部の方しか学ぶことが出来なかったですが、オンラインなので、全社員で性能向上リフォーム、正しいリフォームについて学べ、全社的な底上げが可能になりました。

初級、中級をご用意しました。初級は無料で、まずは性能向上リフォームへの関心を高めてもらいます。そして、中級で、耐震や断熱、インスペクションなど、7つの分野を全国の優秀な講師陣から学ぶことが出来ます。

詳しくはホームページに記載されています。

#### ③ 大規模リノベーションの商品、『つながりノベ』

大規模リノベーションの新しい市場の開拓として、打ち出した、『つながりノベ』。

このビジネスモデルは、三方善しです。売り手よし、買い手よし、世間よしです。

まさに、社会課題を解決している商品です。

私は、三方善しになっているビジネスモデルに失敗はないと思っております。

空家問題、社会保障など、深刻な問題をリフォームで解決していきます。

まだ大規模リノベーションに取り組んだことがない方も、是非新しい事業の柱としてご

**「ジェルコリフォーム」動画のご案内**

**10年後も感謝されるリフォーム**

約40年時の設立以来、ジェルコは「得意な事で経験を売る」ことをスローガンに日々研鑽を重ねてきました。それを当たり前のように承けてまいりましたが、今改めて考えれば、それは「10年後も感謝されるリフォーム」を依頼してきたからだと思います。今回はその最大成果として研修カリキュラムを動画としてまとめました。

**「買の悪いリフォーム」を回避し、事業者の明るい未来を創造する**

2020年にジェルコのビジョンとして掲げたスローガンです。「買の悪いリフォーム」こそが10年後も感謝されるリフォームにつながると思います。誰かインスペクションと建物の竣工で、私たちの明るい未来を切り開いていきましょう!

**「ジェルコリフォーム」習得の体系化**

現状、リフォームは、グレーな施工が多く、また技術も熟練の経験者の方で対応していることが多い。知ってて穴を突く業者も少なく、知らないで穴を突く業者も少なくない。そこで、「ジェルコリフォーム」は3段階で計画し全員のドットアップを行います。

**ステップ1** ボトムアップ  
基礎的なリフォームに於いての弊とされる「ジェルコリフォーム」基本研修の先上を履修します。

**ステップ2** 高度リフォームへの対応  
高度なリフォームに対応するための研修を行います。

**ステップ3** 経営品質の向上  
（人材・労働生産性の向上）  
社会、近隣、顧客、業界との関係構築による「ジェルコリフォーム」の発展と経営成長の上を目指します。

**豪華講師陣が動画で解説**

動画内容の一例・料金・お申込みの詳細内容は裏面をご覧ください。

**こんな会社に最適**

**初心者**  
家の住居状態を考えると、半壁は新築や新築並みの状態にリフォームを希望する必要がある。リフォームを希望する人が多く、リフォームの手を挙げたいが、リフォームの知識が足りない。

**中級者**  
次世代の若手世代、後継者がいない。経験豊富な人が多く、リフォームの知識が足りない。リフォームの知識が足りない。

**中級者**  
性能向上リフォームの経験がない。リフォームの知識が足りない。リフォームの知識が足りない。

**動画内容の一例**

ジェルコリフォーム基礎研修 ※基礎研修カリキュラム、全研修 ※研修期間：1日(9:00~17:00) ※研修料：10,000円	動画内容の一例 ※研修期間：1日(9:00~17:00) ※研修料：10,000円	新築研修 ※研修期間：1日(9:00~17:00) ※研修料：10,000円
キッチンリフォーム ※研修期間：1日(9:00~17:00) ※研修料：10,000円	5.0フロア研修 ※研修期間：1日(9:00~17:00) ※研修料：10,000円	性能向上リフォーム基礎研修 ※研修期間：1日(9:00~17:00) ※研修料：10,000円
浴室リフォーム ※研修期間：1日(9:00~17:00) ※研修料：10,000円	福祉リフォーム ※研修期間：1日(9:00~17:00) ※研修料：10,000円	地下家賃管理 ※研修期間：1日(9:00~17:00) ※研修料：10,000円
トイレリフォーム ※研修期間：1日(9:00~17:00) ※研修料：10,000円	インスペクション研修 ※研修期間：1日(9:00~17:00) ※研修料：10,000円	経営研修 ※研修期間：1日(9:00~17:00) ※研修料：10,000円

**お申込み方法**

以下のURL又はQRコードから研修するカリキュラムを選択してお申込みください。選んで研修料より研修料が少なくなります。入金の確認ができましたら受講料をお振込みください。  
※受講料はパスワードで決済から5分ほど待ちますのでご注意ください。  
※研修料は研修料です。お申込みいただいたあと、パスワードをお知らせいたします。

お申込みは今すぐこちらへ（下記のURLよりお申込みください）

検討ください。

詳しくは、セミナーを定期的に開催していますので、事務局へお問い合わせください。

#### ④ 移住、2地域居住へのサポート

コロナ禍で、東京一極集中から、少しずつ地方への移住も増えてきています。

また、本宅は都市部において、テレワークを環境のいい場所とする2地域居住も増えてきているようです。

少しでも、皆さんの売上貢献になるように、空家バンクを推奨している自治体向けのリフレットを作成します。

全国組織のジェルコが、移住などの方へのサポートを行う旨を記載したものです。

これを、自社のパンフレット、名刺と一緒に持参し、各自治体へお持ちいただき、空家バンクの相談時、リフォームの相談は、お任せいただくような流れをつくっていきます。

#### ⑤ 安心R住宅

中古+リノベーション市場の増加がある中、まだまだ不動産業界では立地などが優先されている状況にあります。

そこで、ジェルコの武器であるインスペクションをこの市場に取り入れ、ちゃんと中古住宅を査定し、良質なリフォームと共に、市場の活性化を図っていきます。

今、取り組み中ではありますが、リフォーム会社として長く安心して住まえるサポートをしていきたいと思っております。

以上、今、取り組み中の活動をご紹介しました。私は、1つの商品、サービスだけの売りではなく、色々な方向から受注増が出来るように、ジェルコ活動を通してサポートが出来たらと思っています。

是非、ジェルコをうまく活用して企業永続をはかってください。

# 委員会活動報告

## = 体制整備委員会 =

### コロナ禍でもオンラインで情報発信 引き続き会員増強の加速を図る

委員長 森山 英夫

体制整備委員会では、今期は9月中旬までに18社の入会ができており、昨年の倍増となっています。皆様のご協力のもとに会員が増えていることホームページ・オンラインセミナー等の発信により、現在の環境下で不安に感じている業者さまの入会も進んでいることがあげられます。

増強セミナーに関しては、7月に北海道で増強セミナーを実施（支部大会併設）、10月

5日に大阪では、マエダハウジングの前田社長を講師に迎え増強セミナーを開催を予定し、12月上旬には中国四国にてカスケホームの安藤社長によるセミナーも計画されているほか、2021年の1月には沖縄にてセミナーを予定しており、後半さらに活動を強化していきます。

また、入会された3年以内の会員さまの退会防止として、5月に実施し、非常に好評を



5月7日にオンラインで開催された「ウェルカムジェルコ@ZOOM」



9月14日に開催した「第3回ジェルこまちDAY 2021@ZOOM」には約120名が参加

得ましたので、引き続き9月28日にもウェルカムジェルコの実施予定としております。

特にコロナ禍で、会員になったいただけたけれども、動きの取れない状況ですので、支部長や体制メンバー、本部メンバーとZOOMにて実施をして、関係を作っていきます。

また、増強を加速するためのジェルコ動画も完成しました。ジェルコのよさを出すために各支部の皆様にも出演いただき、またジェ

ルコの7つの特徴についても、盛会長・夕部副会長・体制整備副委員長の時さんから分かりやすく説明をいただいております。

ジェルこまちにつきまして、別ページでもご紹介のあった通り、第3回ジェルこまちDAYを実施して、120名近い動員と過去最高になりました。

引き続き、活動を強化し、会員数を増やしてまいります。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

# 委員会活動報告

## = 広報渉外委員会 =

### コロナ禍でもオンラインで情報発信 引き続き会員増強の加速を図る

委員長 石原 直之

広報渉外委員会は支部委員として北海道支部三橋さん、近畿支部佐々木さん、中国四国支部植木さん、九州支部波風さん、本部委員として長瀬さん、金廣さん、副委員長の興石さん、大塚さん、石井さんの10名で運営しています。

どちらの委員会も同じではないかと思いますが広報渉外委員会もまだ全員で顔合わせができておりません。早期にコロナ収束を迎え皆さんと顔合わせできる事を楽しみにしております。

さて広報渉外委員会のご紹介です。当委員会はその名の通りジェルコの活動を一般生活者の皆様、ジェルコ会員の皆様、ジェルコ入会を検討されている方に紹介して行く事が主な業務になります。以下でその詳細をご紹介します。

#### ① ジェルコリフォームコンテスト

広報渉外委員会で企画、運営をさせていただくジェルコリフォームコンテストは1992年のスタートから今年度で29回目を迎えるジェルコの看板事業であり、今や国内のコンテストでも参加作品のクオリティー、参加点数、社数においてもトップクラスのコンテストに成長いたしました。

ジェルコリフォームコンテストはデザイン部門、ビジネスモデル部門、ユーザーフォト

部門の3部門から構成されています。

#### 【デザイン部門】

デザイン部門は毎年約500点の作品が参加されています。賞は全国最優秀賞、公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞、一般社団法人住宅リフォーム推進協議会会長賞、全国部門別最優秀賞、優秀賞、新人賞、全国特別賞に幅広く分けられており、それぞれの目標をもって参加していただけるようになっております。

長年審査委員長としてコンテストを支えていただいた上杉先生は昨年で審査委員長をご勇退されました。これまでのご尽力に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。今年度からは近畿大学の宮部浩幸先生を審査委員長にお迎えし、引続き玉井先生、江口先生、リーガルチェック（建築法規監修）は村上先生の皆さんで審査を進めてまいります。

表彰式は時節柄昨年度よりリモート形式で実施しております。委員会としても新たな取組でしたが、リモート開催は従来の会場開催に比べると受賞者以外の会社同僚の方、今後のコンテストの参加を目指す方などは幅広く参加することができる事、受賞者のプレゼンテーションが聞き易かったなどのおおむねご好評をいただく事が出来ました。

残念ながらコロナ状況を鑑み今年度もリ

モート開催となりましたが、昨年同様に国土交通省や経済産業省、紛争処理センター、リフォーム推進協議会からご参列をいただきます。

今年度は表彰も会員の皆様からご要望が多かった前年の上位3賞のみの表彰から部門別最優秀賞の表彰も実施させていただきます。審査員の皆さんによる座談会も毎回好評をいただいています。

### 【ビジネスモデル部門】

2015年経済産業省は「先進的なリフォーム事業者表彰」を開催しました。

これは独自のビジネスモデルで他の事業と差別化された強みを有する取組を行うリフォーム事業者を表彰するという物です。ジェルコ会員をはじめ大手住宅設備、建材メーカー、大手不動産業者など①新規性・独自性②、将来性・波及性、③付加価値の創造において優れた取組をするリフォーム事業者表彰されました。経済産業省の主催を経てこの事業は2018年より運営をジェルコが引継ぎ現在のビジネスモデル部門に至っております。

今年度は審査委員長に坂本雄三先生、審査委員に建産協の寺家克昌様、日経BP社の安達功様、経済産業省の秀川佳苗様をお願いしております。賞は経済産業大臣賞、経済産業省製造産業局長賞、ジェルコ会長賞に分かれております。

受賞内容も地域の産業振興、福祉など現在のSDGsに通ずる先進性のみならず社会性の高いビジネスモデルが受賞しております。表彰基準はビジネスモデルの構築だけではなく、実際にそのビジネスを実施し成果が出ている事になっています。

今後の社会にプラスになる事業の輩出にも



つながるジェルコが主催するにふさわしい事業です。今後もさらなる発展を目指してまいります。

### 【ユーザーフォト部門】

2018年からスタートした新しいカテゴリです。

ユーザーフォト部門はデザイン部門とは異なり作品のデザインを競うのではなく、リフォーム打合せ中、工事中、工事後などリフォームにかかわるお客様、職人さん、リフォーム会社で働く皆さんの楽しんでいる、喜んでいる、くつろいでいる、頑張っている姿をスナップ写真的にとらえた写真が対象になります。リフォームすること自体の素晴らしさや価値を施工業者、お客様で共有する事でリフォームをより身近に感じていただける事を期待しています。デザインコンテストに参加していただく会員様の裾野を広げる事も期待しています。

このカテゴリはジェルコビジョン2030にあります、Heart of Jerco「リフォームで家が変わると暮らしが変わる」につながるものであると思います。個人的な考えではリフォームをしたお客様がご家族で撮影された写真で参加されたり、リフォーム会社とお客様が共同で参加されたり、リフォームで暮ら

# 委員会活動報告

しが変わった事の喜びをお客様と分かち合えるきっかけにもなってくれるといいと思います。

## ② ジェルコホームページ ワーキンググループ (WG)

ジェルコ公式ホームページは昨年度に全面リニューアルをおこない、リフォームを考えている一般の客様とジェルコ会員様、非会員業者様それぞれに入り口を分け利便性を向上させました。

コンテンツはジェルコ宣言、ジェルコビジョン 2030 から、ジェルコリフォーム、性能アカデミー委員会、体制整備委員会での活動など業界をリードするジェルコの事業を公開しています。リフォーム事業に真摯に取り組むジェルコの姿勢を伝える事で、ジェルコ会員でのリフォームを検討されるお客様に対する信用の補填や期待の増大につながればと考えています。

ジェルコの価値をさらに余すところなく伝えるホームページにするために、今年度から関東甲信越支部の山口さんにもご参加いただきホームページワーキンググループも設置しております。

## ③ ジェルコレポート ワーキンググループ (WG)

会員の皆さんにおなじみジェルコレポートも広報渉外委員会のジェルコレポートワーキンググループで製作しています。

メンバーは福原性能アカデミー副委員長、時田体制整備副委員長、興石広報渉外副委員長、押部専務理事です。

会員の対面交流が少なくなった今、その価値が見直されていると思います。新しい号を

楽しみに開いていただけるよう楽しい企画を今後もお送りいたします。

## ④ コレカラ

一般のお客様からのリフォーム相談の窓口であるコレカラという事業も行っております。

住宅リフォーム事業者団体に登録しているジェルコが行うべき消費者保護にもつながる事業です。昨今ネットでのマッチングなどの相談窓口は増えてきましたが、コレカラの特徴は各支部の経験豊富な会員と直接電話で相談ができる事です。

2017年から2021年8月までに合計76件のご相談を受けていますが、さらに活用数を増やす事が目下の課題です。

## ⑤ 減税・補助金 ワーキンググループ (WG)

関東甲信越支部長の山崎さんを座長に進めています。広報渉外委員会と共同で進めております。

山崎支部長ご自身の会社での経験から作成された減税シュミレーションソフトや必要書類作成代行のスキームをもとに、会員の皆さんが簡単に使える仕組みを構築中です。

減税、補助金制度を私たちが知らない事でお客様が不利益を被らない状況を作ることを目指します。

以上が主な活動になります。今後は行政や他団体、マスコミなどとの関連も強化し、業界をリードするジェルコの活動を幅広く知らしめて行ければと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願います。



ジェルコ会員限定 オンラインセミナーのご案内

# ジェルコリフォーム中級編 マンション編

— 2021年度 マンションリフォーム専有部分 施工技術講座 —

主催 JERCO 一般社団法人 日本住宅リフォーム産業協会

協賛 REPCO 一般社団法人 マンションリフォーム推進協議会

分譲マンションのストック数は増加傾向にあり、全国で675万戸を超え、マンション専有部分のリフォームはますます重要な領域になってきております。と同時に、お客さまにご満足いただけるような良質な工事も求められてきております。

そこで、ジェルコでは「マンションリフォーム専有部分施工マニュアル」をテキストにマンション専有部分のリフォームの基礎から施工上の注意点、工事の進め方、部位別リフォームなどについて事例を交えながら解り易く説明する講座を開催いたします。

マンションリフォーム専有部分の工事に携わって「経験の浅い方」、提案プランナーの方で「現場の知識を基礎から学びたい方」、さらには今後「マンションリフォームマネージャーの資格取得を目指したい方」など向けの講座になっておりますので、奮ってご参加いただけますようお願い申し上げます。



開催日時

第1回 2021年 10月12日(火)

第2回 2021年 12月7日(火)

第1回・第2回 両日ともに 13:00~17:00

※オンライン開催ですが録画はありません。当日のみの受講です。

お申込み締切日

第1回 9月27日(月)

第2回 11月22日(月)

受講料 1人7,000円 (テキスト代含む)



内容	タイムスケジュール
1 第1章 マンションリフォームの考え方	13:00~13:50(50分)
第2章 共通事項の進め方1~7	
~休憩(10分)~	13:50~14:00(10分)
2 第2章 共通事項の進め方8~11	14:00~16:00(2時間)
第3章 部位別リフォーム	
~休憩(10分)~	16:00~16:10(10分)
3 第4章 高齢者対応のリフォーム	16:10~16:50(40分)
法令・現場調査について	
4 質疑応答	16:50~17:00(10分)



講師 (一社)マンションリフォーム推進協議会(REPCO)  
赤羽 嗣久 氏 (一級建築士 株式会社住宅・リフォーム情報研究所 代表取締役社長)  
片峯 雄志 氏 (一級建築士 株式会社東急 Re・デザイン)

お申込みは今すぐこちらへ(下記のURLよりお申込みください)※お一人様ずつのお申込みをお願いします。

<https://forms.gle/88LLm56YKYpVaQfg6> こちらのQRコードからもお申込みができます



お問合せ先

一般社団法人 日本住宅リフォーム産業協会

〒104-0032 東京都中央区八丁堀1-3-2 佐藤ビル3F TEL:03-5541-6050 / FAX:03-5541-0127  
ジェルコ本部事務局 担当:相馬 Mail:y-soma@jerco.gr.jp

## 第29回 リフォーム工事でのアスベスト対策が義務化、あなたの会社は大丈夫？



ジェルコ  
住宅リフォーム  
市場動向・景況調査

# ●今期、景況感持続するも不安も ●石綿対策へ関心高いが未対応過半数

今回の第3四半期（7月～9月）は、オリンピック、パラリンピックで日本選手の大活躍がありました。一方では全国第5波の感染拡大やワクチン接種率の50%を超え、更には菅政権の退陣など様な動きがありました。しかし住宅業界・リフォーム業界はステイホーム、おうち時間充実等のニーズの高まりなどあり堅調で現場も忙しい状況でした。

そんな中、消費者の住まいの感染対策など安心安全への関心は一段と高まっていますが、国では石綿（アスベスト）含有建材の既存建築物からの撤去について、この4月からリフォーム時の調査や報告などの規制強化をスタート。また2年後の令和5年10月から調査には一般建築物石綿含有建材調査者等の公的資格が必要となります。国では建築等での安全衛生の強化を一段と進めていま

すが、職人や下請け施工会社が減少する中、ジェルコ会員の安全衛生対策は大丈夫でしょうか。今回は今年からスタートした石綿対策などについて聞きました。また関連して現場の安全衛生対策、さらには今後のビジネスで大きなテーマとなりつつあるSDGsについても聞きました。

今回のご回答は会員50社からいただきました。ありがとうございました。

### 1. 会員企業の年商、社員数などについて

今回はオリンピック・パラリンピック期間中、全国的に感染者数が最大となり、都道府県の半数以上に緊急事態宣言等が出された。アンケート実施は感染がようやく下火になってきた9月中旬。今期7～9月期の会員企業の状況は、コロナ

会員企業のプロフィール（年間売上高、社員数、平均粗利益率）

会社情報（平均）						
	第24回 (R2.7)	第25回 (R2.10)	第26回 (R2.12)	第27回 (R3.3)	第28回 (R3.7)	第29回 (R3.9)
男	15.9	12.0	10.7	9.8	12.3	8.6
女	11.7	10.9	8.9	6.5	7.6	5.6
資本金	3,117	2,948	2,064	2,756	8,459	2,948
年間売上高（万円）	83,399	33,918	82,085	35,079	54,156	34,541
平均粗利益率（%）	28.8	31.3	29.4	27.8	27.5	27.2
代表者年齢平均	57.3	58.1	62.7	55.8	56.2	55.8
中央値						
	第24回 (R2.7)	第25回 (R2.10)	第26回 (R2.12)	第27回 (R3.3)	第28回 (R3.7)	第29回 (R3.9)
男	5.0	4.5	4.0	5.0	5.0	4.0
女	3.0	3.0	2.0	2.0	3.0	2.0
資本金	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
年間売上高（万円）	24,500	19,000	22,500	20,000	20,000	16,000
平均粗利益率（%）	29.0	28.0	29.0	28.0	28.1	28.0
代表者年齢平均	58.5	58.5	61.0	56.0	58.0	56.5
最頻値						
	第24回 (R2.7)	第25回 (R2.10)	第26回 (R2.12)	第27回 (R3.3)	第28回 (R3.7)	第29回 (R3.9)
男	1	4	2	2	3	4
女	3	1	1	1	3	1
資本金	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
年間売上高（万円）	30,000	20,000	9,000	30,000	30,000	30,000
平均粗利益率（%）	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	25.0
代表者年齢平均	71	71	62	48	48	48

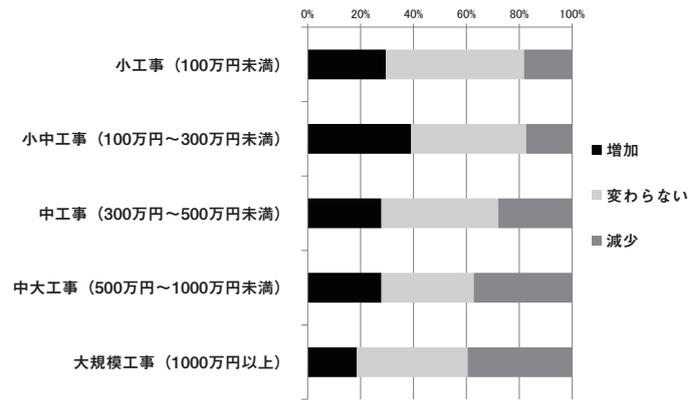
の影響はあまり見られないようで、前期（4～6期）からの景況感が続いている。会員企業の次期10～12期の見通しでは、コロナ終息による期待、冬の感染拡大を心配などが相半ばしているようで、「増加」「変わらない」がそれぞれ最も多くなっている。

会員企業のプロフィール（前頁の表）では、社員数、売上高、平均粗利益率等について見てみると、従業員数では平均で男性が8.6人（前回12.3人）、女性が5.6人（前回7.6人）。年間売上高は平均で3億4541万円（前回5億4156万円）。平均粗利益率は27.2%（前回27.5%）であった。社員数、売上高ともに前回より小さくなっている。売上高の中央値は1億6000万円と前回より少なくなっているが、最頻値は3億円と変わっていない。粗利益率では、平均値が27.2%と前回とほぼ同じ。中央値は28.0%と前回と同じ。最頻値は25.0%と前回に比べ5ポイント下がった。

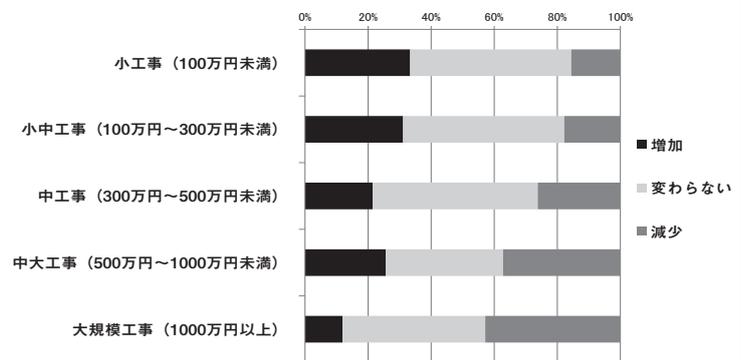
## 2. 会員各社の今後の景況感について

まず、コロナ第5波の真ただ中であった[7～9月]期の受注を見ると、受注件数では「増加」「変わらない」は共に35.4%、「減少」が29.2%で、

工事規模別受注件数の増減

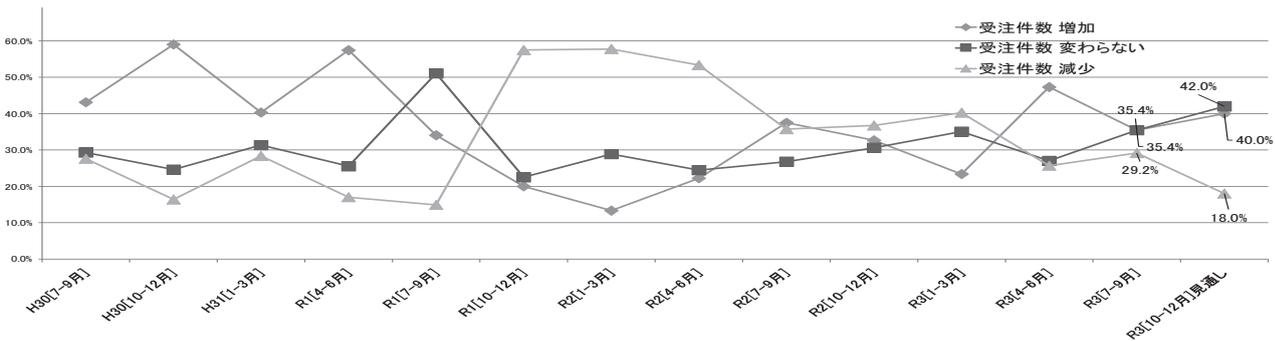


工事規模別受注金額の増減

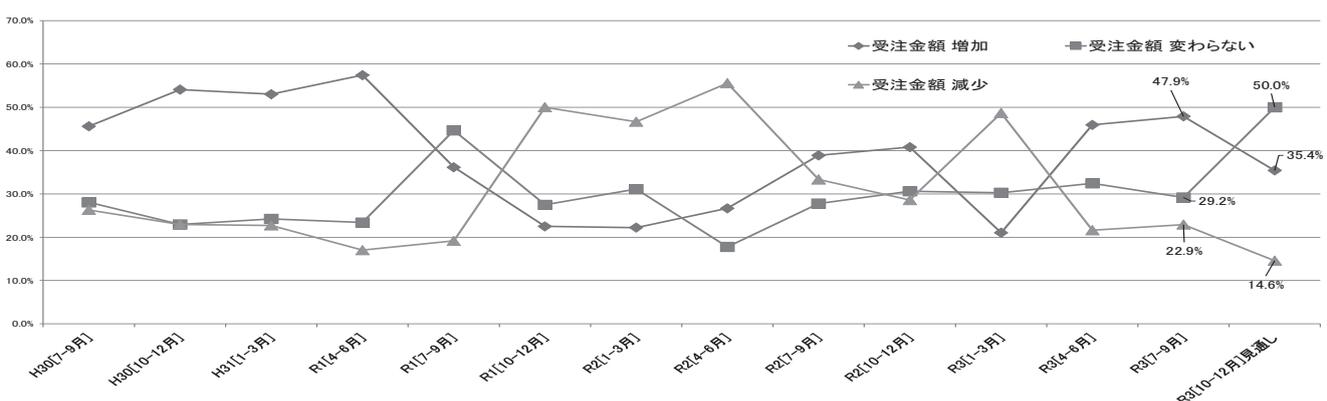


それぞれ大きな差がみられず、前期からの好況感は続いているもののコロナの影響もあった感じか。受注金額では、「増加」が47.9%と最も多く、

四半期毎の受注推移（件数）



四半期毎の受注推移（金額）



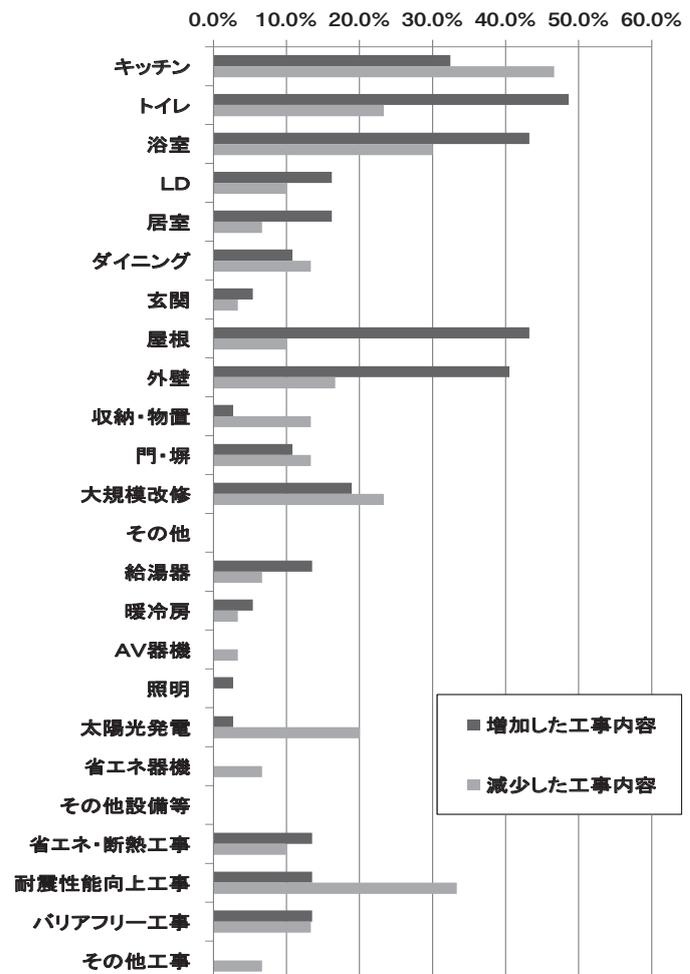
「変わらない」が29.2%、「減少」が22.9%を大きく上回った。受注内容が良かったようである。

工事規模別では小工事（100万円未満）と小中工事（100万円～300万円未満）では、受注件数・金額共に「増加」が30%前後となり「減少」を10ポイント以上上回っているが、「変わらない」とするところが50%前後あり前期に比べ伸びは鈍化している。「大規模改修」では前期と同様、件数・金額共に「減少」が40%前後で、コロナ下でなかなか大規模物件の需要がなかなかつかめな状況にあるようだ。工事部位別では、トイレ、浴室、屋根、外壁など季節要因もあり「増加」が「減少」を大幅に上回った。

また、今回は、最近ウイズコロナのニーズとしてリフォームも注目の的となってきたことから、実際にこの1年間ステイホームやテレワークにつながる需要があったかどうかを聞いてみた。最も多かった回答は「受注内容はコロナ前とあまり変わらない」が45.8%で、ウイズコロナニーズとははっきり分かる「テレワーク用のワークスペース」等は8.3%だった。ウイズコロナ需要はほとんどないとする人も2割いたが、キッチン・リビングや性能向上のリフォームが増えたとするところも10数%あった。「おうち時間」充実の1アイテムとしてリフォームがあることも見て取れる。

今期〔10～12月〕期の見通しでは、受注件数では「増加」が40.0%、「変わらない」が42.0%と、ほぼ同数となった。一方、受注金額では「変わら

【7-9月】期に増減した工事内容

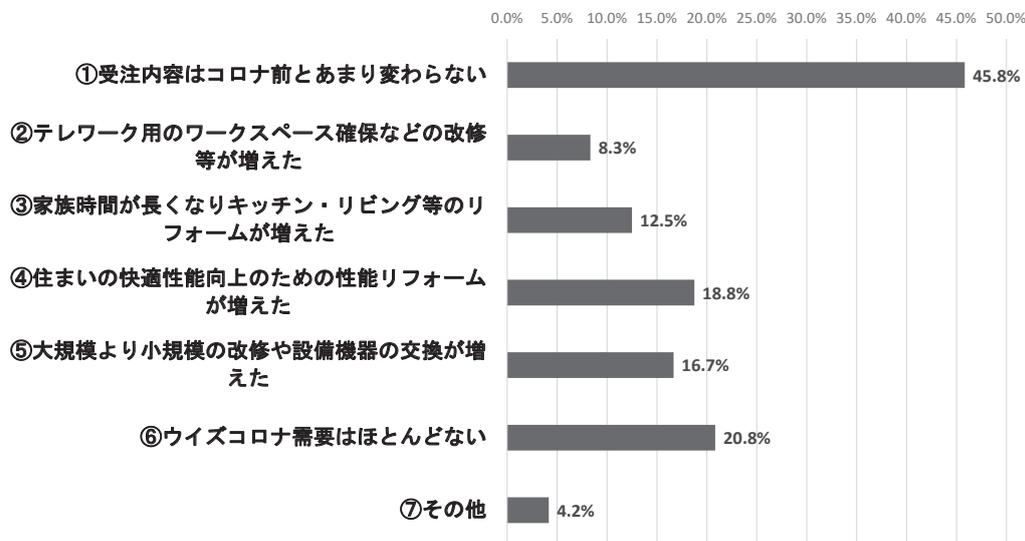


ない」が50.0%、「増加」が35.4%で控えめな見通しとなっている。第5波の感染が下火になったことへの期待と、第6波の感染拡大への不安が相半ばする見通しである。ただ、「減少」見通しの回答は10%台と低かった。また、受注規模が期待

できる工事規模では、小中工事（100～300万円未満）が51.1%、小工事（100万円未満）が31.1%で、多くの期待が集まった。

昨年まで期待の高かった大規模改修は10数%に落ち期待薄の見方になっている。

ウイズコロナ時代のニーズのリフォームはあったか



### 3. 石綿対策の規制強化・義務化や現場の安全衛生への対応について

今年4月から石綿（アスベスト）含有建材の安全な管理・撤去のため、リフォーム時の調査や報告の義務化など規制強化が今年4月から始まった。この法改正によりリフォーム業でもアスベスト対策が必須となったが、ジェルコ会員の現状はどうなのか聞いた。また令和5年10月から調査には一般建築物石綿含有建材調査者、一戸建等石綿含有建材調査者などの公的資格が必要となるがその対応も聞いてみた。

まず、改修工事での石綿対策の規制強化・義務化を知っているかどうかでは、「よく知っている」ので、今後リフォームでもしっかり対応していく必要がある」と回答が50%、「すこし知っている」が46%で二分した。「全く知らなかった」「リ

フォーム業に関係あるとは思わなかった」「関心がない」という人は一人もいなかった。認知度は100%であった。

石綿対策の規制強化・義務化へ「あなたの会社ではどう対応するか」では、最も多かったのが「石綿含有建材調査者講習の受講をするなどで対応」が40.0%であった。次いで「現状は何もできていない」が36.0%、「情報収集から始めたい」が26.0%。必要な資格者を確保するところが4割に対して、まだ何も対策を取っていない所が6割だった。調査者の資格取得済みとするところはわずか2社だった。

築年数の30年以上古い住宅であれば、石綿含有建材はどこかに必ず使われているはずであるが、いままで石綿対策をどう対応してきたかについて聞いてみた。

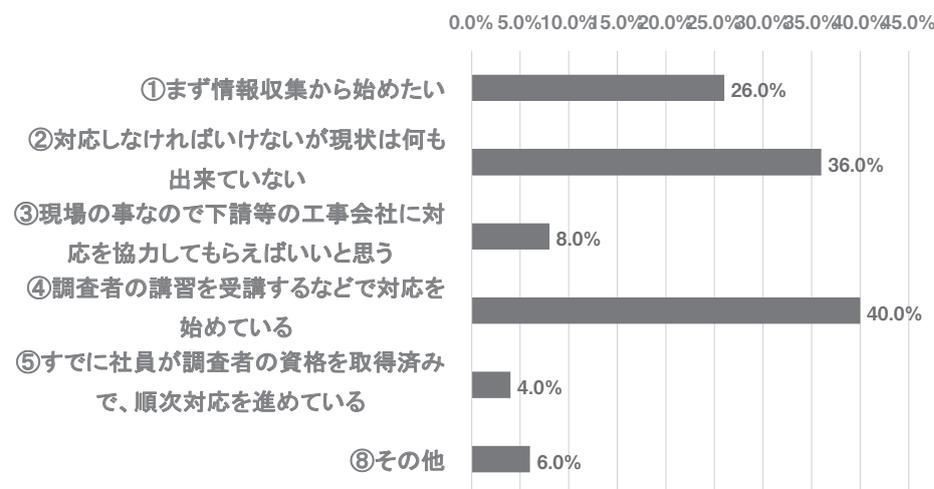
最も多かったのは「住宅リフォームなので石綿

への対応は特にしていない」が34%であった。次いで「石綿関連の現場は下請けに任せてきた」が26%であった。その他の回答で「アスベスト除去の専門業者」という回答もあった。逆に「社員等が石綿取扱作業従事者や石綿作業主任者の資格を取得し、しっかり対応している」と回答したのは14%で7社あった。

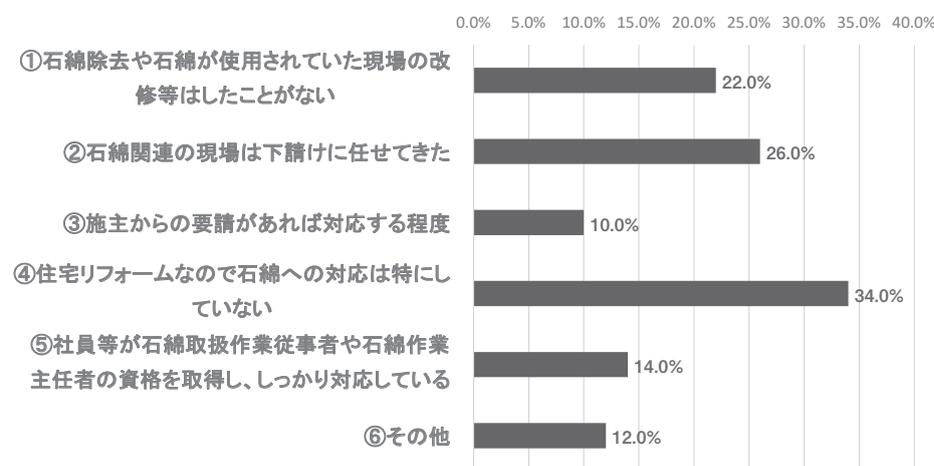
その他では、「解体時に発生する可能性があることを事前に説明している」、「元請としてマネーフレストで管理」、「資格はないが対応している」などの回答もあった。

石綿除去にかかわるリフォーム工事の「年間受注件数」では、「なし」とするところが最も多く

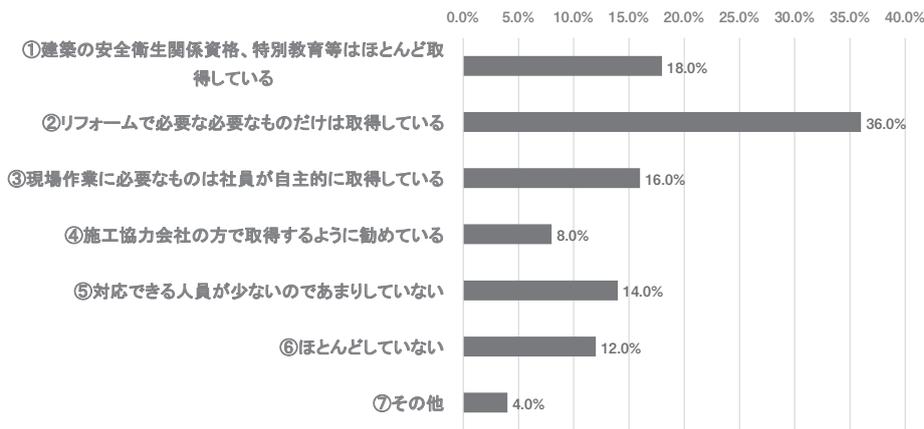
義務化・強化に対するあなたの会社の対応は



あなたの会社の今までの石綿除去への対応は



### あなたの会社の現場の安全衛生への対応は



半数であった。次いで「9件以下」が35.4%だった。「50件以上」は2社あった。

国では、このアスベスト対策の他、工事現場での安全衛生の推進を強く行っているが、リフォームでの現場の安全衛生に関する資格等の取得はどうかを聞いてみた。最も多い回答は「リフォームで必要なものだけは取得」で36%。次いで「建築の安全衛生関係資格、特別教育等はほとんど取得」が18%。また「対応できる人員が少ないのであまりしていない」「ほとんどしていない」が合わせて16%もあった。

会員からアスベスト対策について寄せられた意見、質問は次の通り。

- ・情報が入り次第随時お願いします
- ・団体として勉強できる機会が創出する予定があるのであれば、告知いただけますと幸いです。
- ・数年前に取得した資格と今回ののは変わってるん

でしょうか？

・アスベストに関してお客さまは全くと言っていいほど規制強化されたことは知りません。検体測定などの費用負担は無駄のものという認識があります。国、業界からメッセージを発信していただけたら良いと思います。

・石綿調査の講習会が近県では開催されず、コロナ禍もあって気軽に社員を参加させられないので困っている。

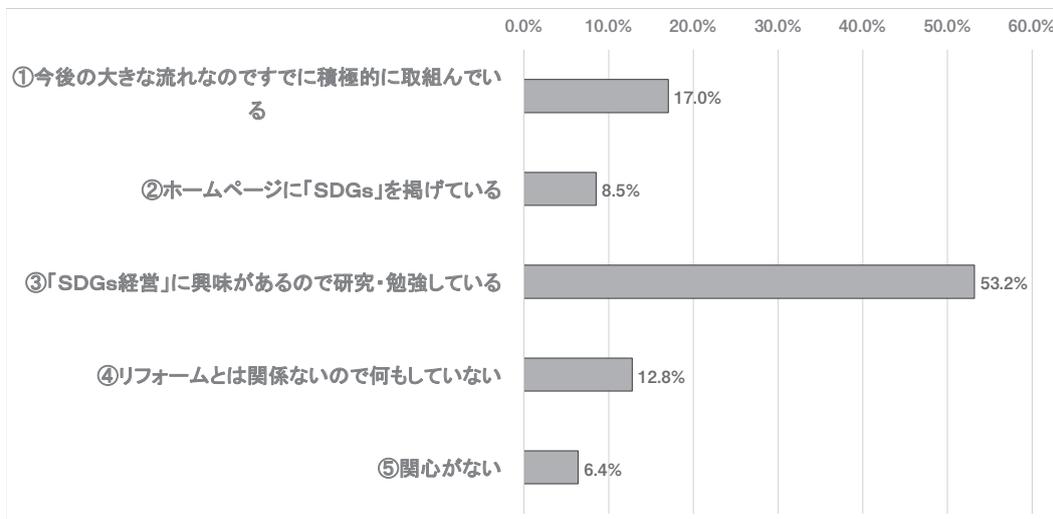
などであった。

### 4. ジェルコ会員のSDGsへの取組は

今期ジェルコの性能アカデミー委員会で検討されてきた「SDGs」取組みで、会員向けのホームページ用にSDGsコンテンツの提供が始まる。そこで、会員企業のSDGsの取組について聞いてみた。

最も多かった回答は「「SDGs経営」に興味があるので研究・勉強している」が53.2%と半数を超えた。反対に「リフォームとは関係ないので何もしていない」「関心がない」は合わせて2割近くあった。「ホームページに「SDGs」を掲げている」会社は4社あった。

### あなたの会社のSDGsへの取り組みは



寄せられた意見では、既にユーザーに向けて、「SDGs、脱炭素化社会の実現に向けて性能向上リフォーム+太陽光を積極的に提案しています」というところもあった。

## ・・ リフォームでの石綿対策義務化のポイント ・・

### 80㎡以上の解体部分、請負金額100万円以上が対象 石綿含有建材の事前調査、調査結果の報告義務など

石綿障害予防規則の改正で、リフォーム・修繕等の改修工事をする場合、事前の石綿調査や調査結果記録の3年間保存、解体部分が80㎡以上又は請負金額100万円以上の改修工事等での労働基準監督署への報告、有資格者（一般建築物石綿含有建材調査者等）による事前調査、などが義務化された。工事前の石綿調査、調査結果記録の3年間保存は、すでに今年4月から施行されている。

これまで、住宅リフォーム業界にとって石綿除去対策は、ほとんどビル解体・改修の範疇で除去専門業者の仕事であり、あまり関係ないと思われていた。しかし、今回の改正で解体部分80㎡以上や請負金額100万円以上という数値が加えられたことで、住宅リフォームの中心である水回りリフォームや今後市場増大が期待される大規模改修での石綿調査が大幅に増加する。

石綿含有建材は2006年から輸入・製造・使用が禁止されたが、それ以前に建てられたものには使われてきた。戸建住宅等では、サイディング、屋根用スレート、ルーフィング、ケイカル版、せっこうボード、ビニル床タイル・シート、壁紙など

の一部製品に石綿が使われてきた。戸建住宅のリフォーム対象は築20年前後がボリュームゾーンであるので、まだまだ石綿含有建材が使われている建物が多い。中小工事や内部工事が多いリフォームでは、今回のような義務化もなかったもので、石綿対策に明確に取り組んできた事業者は少なかったようだ。

これからはSDGsの時代であり、施主の夢や高性能を実現するリフォームだけでなく、安全や健康に対してもコンプライアンスや説明責任が求められるので、工事する側はこうした石綿対策に確実な対応が必要である。

今回の石綿障害予防規則の改正については、業界の関心も非常に高く、ジェルコ会員の認知度も100%である。特に関心のあるのは有資格者による事前調査の義務化で、平成5年10月から施行される。有資格者となるのは「特定建築物石綿含有材調査者」、「一般建築物石綿含有材調査者」、「一戸建て等石綿含有材調査者」の3資格。現在全国で資格取得講習会が開催されているので、機会があれば是非受講して資格を取得しておきたい。

石綿障害予防規則の今回の改正のポイントは次の通りである。

#### ■工事前に石綿（アスベスト）含有の有無を調べる事前調査について

①建築物の解体・改修・リフォーム等の工事対象の全ての材料で、石綿含有の有無を設計図書等の文書と目視で調査し、調査結果の記録を3年間

#### <戸建て住宅>



出典：目で見えるアスベスト建材（第2版）（国土交通省）

保存することを義務づけ

②建築物の事前調査は、厚生労働大臣が定める講習を修了した者等が行うことを務づけ

■工事開始前の労働基準監督署への届出について

①吹付石綿、石綿が含まれる保温材などの除去等の工事は14日前までに労働基準監督署に届け出ることが義務づけ

②一定規模以上の建築物等の解体・改修工事は、事前調査結果等を電子システムでの届出義務づけ

■吹付石綿・石綿含有保温材等の除去工事について

①除去工事が終わって作業場の隔離を解く前に、資格者による石綿等の取り残しがないことの確認が義務づけ

■石綿含有成形板等・仕上塗材の除去工事について

①石綿が含まれているけい酸カルシウム板第1種を切断、破碎等する工事は、作業場の隔離が義務づけ

②石綿が含まれている成形板等の除去工事は、切断、破碎等によらない方法で行うことが原則義務

③石綿が含まれている仕上塗材をディスクグラインダー等を用いて除去する工事は、作業場の隔離が義務づけ

■写真等による作業の実施状況の記録について

①石綿が含まれている建築物、工作物又は船舶の解体・改修工事は、作業の実施状況を写真等で記録し、3年間保存することが義務づけ

■石綿事前調査結果の報告について

①建築物や工作物の解体・改修工事を行う際には、法令に基づき、石綿含有の有無の事前調査を実施する必要がある

②一定以上の建築物・工作物の場合、労働基準監督署、および自治体に事前調査結果の報告を行う義務が事業者（元方／元請事業者）に課せられる

■報告対象となる工事

① 解体部分の述べ床面積が80㎡以上の建築物の解体工事

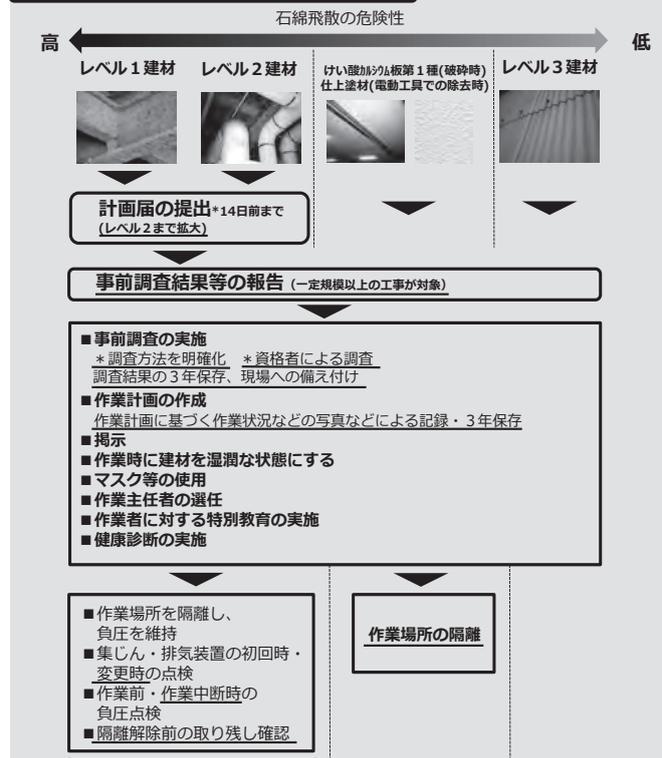
② 請負金額が税込100万円以上の建築物の改修工事

③ 請負金額が税込100万円以上の特定の工作物の解体または改修工事

※事前調査そのものは上記の規模によらず実施す

### 改正後の規制(改正石綿障害予防規則)

\*下線部が改正事項



### 【参考】改正前の規制(石綿障害予防規則)

(レベル1建材のみ) 計画届の提出  
(レベル2建材のみ) 作業届の提出  
(全てのレベルで実施)  
事前調査の実施、作業計画の作成、掲示、作業時に建材を湿潤な状態にする、マスク等の使用、作業主任者の選任、作業者に対する特別教育の実施、健康診断の実施  
(レベル1・2建材)  
作業場所を隔離し負圧を維持、集じん・排気装置の初回時点検、作業前の負圧点検

る必要がある

※建築物の改修工事は、模様替え、修繕のほか、建築設備（ガス・電気の供給、給水、排水、換気、冷暖房、排煙、汚水処理のための設備等を含みます）の設置・修理・撤去等を行う場合も含む。

なお、事前調査結果報告は、「石綿事前調査結果報告システム」を利用することで労働基準監督署、自治体の窓口への書面の提出に出向くことなく行うことができる。（システムは令和4年4月1日までに公開予定）

また、「石綿事前調査結果報告システム」の利用では、GビズIDが必要となるとしている。（GビズIDの発行は <https://gbiz-id.go.jp/top/> でおこなっている。）



# Jerco Service File

## ① 支部会（役員会・定例会など）の使い方

ジェルコでは全国どの支部でも定期的に定例会、支部会、ブロック会、地区会、支部役員会などを開催しており、毎回様々なテーマで話し合わせ、情報交換の場として活用されているほか、様々なセミナー、講習会なども企画・実施されています。こうした会合やイベントなどは会員であれば誰でも参加できますので、ジェルコの毎月の活動を肌で知ることができます。



## ② 各種セミナー、勉強会の使い方

ジェルコの全国8支部では年間を通じて、ほぼ毎月様々な活動をしています。本年はZOOMを使ったセミナーを充実させています。本部発信のWelcome JERCO Salonは、ミニセミナーと商材等紹介を行い、終了後には情報交換会を行っています。詳しくは本部事務局にお問合せください。



## ③ 増改築相談員（新規・更新）研修会の使い方

これからリフォームをしようと考えている人が最初に悩むことは「どの業者に頼もうか」ということです。そのようなとき、他社と差別化できる資格が増改築相談員です。実務経験10年以上のキャリアを有した増改築相談員であることをPRすることで、技術的な信用度もグッと上がります。ジェルコでは全国8支部で、毎年増改築相談員研修会を開催しています。開催日程など詳しい情報はジェルコのホームページをご覧ください。今期も「3密」を避けながら開催しています。



## ④ ジェルコ総合補償制度と「みんなのミカタ」の使い方

ジェルコ独自の工事保険として好評の「ジェルコ総合補償制度」は約100社が加入しており、

- ① 工事中の工事そのものの損害
- ② 工事中の第三者に与えた損害(施主の財物も含む)
- ③ 工事完了引渡し後に施主や第三者に与えた損害
- ④ 工事期間中に工事現場で偶然な事故により工事対象物などに生じた損害

を総合的に補償します。

2019年からは従業員の福利厚生を目的に、日本初！業種団体一括加入の「みんなのミカタ」（団体長期障害所得補償制度）も立上げ、募集をしています。

総合補償制度、「みんなのミカタ」ともに国内トップ水準の保険料率です。随時受け付けていますので、是非参加されることをお勧めします。

## ⑤ ジェルコリフォーム動画

10年後も感謝されるリフォームを目指し、初級編（無料）4本、中級編（5,000円/本）7本の動画を作成しました。ホームページよりお申込み下さい。

## ⑥ ジェルコアカデミーの使い方

ジェルコ会員としてリフォーム事業を遂行するために備えておきたいリフォームに関する総合的な知識を学ぶために、ジェルコリフォームアカデミーがあります。主だった事業は以下のようになります。

① ベーシックコース：ジェルコ会員必須受講となっており、「ジェルコ倫理憲章」と「リフォーム業務品質」の2科目で構成されています。倫理憲章では会員としての行動規範、リフォーム事業者としての心構え等について学びます。リフォーム業務品質では適切かつ最低限必要なリフォーム工事のガイドラインについて学びます。

② 住宅リフォーム総合技術者2級講習：2016年より、新入社員を含む実務経験年数の浅い方を対象にした資格制度を創設しました。合格者には修了証と登録カードを発行しています。2019年度よりオンデマンド受講でコロナ禍の中講師と対面せずに学べます。

## ⑧ 企業訪問（ベンチマーク）の使い方

ジェルコ創設以来の伝統と言えるのがこのベンチマークです。地域戦略を基本としているリフォーム事業ですので、エリア外会員の企業訪問申し込みに快く受け入れてノウハウを提供してくれる会員が多くいます。近年では個社同士だけではなく、支部単位でのベンチマーク研修会が増えてきました。

※現在は一部で実施中です。



## ⑦ ジェルコリフォームコンテストの使い方

デザインの優劣を競うデザイン部門は毎年500点前後の応募があり、全国的にも権威のあるコンテストになりました。また2017からは経済産業省のバックアップを受け、ビジネスモデル部門を新設し、最優秀賞には「経済産業大臣賞」が贈られます。2018年からはユーザーフォト部門を新設し、リフォームに関するスナップ写真に賞を贈っています。

今年度の表彰式は11月17日（水）14時30分からオンラインで開催します。是非お申込み下さい。



## ⑨ アフタージェルコ（懇親会）の使い方

全国8支部のジェルコでは、毎月役員会やセミナーなどを開催しています。多くの支部では会合の後に懇親会（アフタージェルコ）をセットしています。

ここでは昼間のセミナー等では聞けなかったこと、聞きそびれたことなどを、オープンに聞くことができます。セミナー講師が参加されることも多いので、じっくりと疑問点や問題点を掘り下げて聴くこともできますしこのアフタージェルコから参加される会員もいます。

※現在は一部で「3密」を避けて実施中です。



## 新入会員紹介



**【関東甲信越支部】**  
**株式会社 Panoma**  
**代表取締役 葭野一恵 さん**  
**東京都渋谷区 第1種会員**

当社はデザイン性が高いリフォーム工事に加え、お客様により安心安全な工事をお届けできることを目指しております。

同業の皆様とつながりができるように、協会のイベントに積極的に参加させていただきます。



**【関東甲信越支部】**  
**業務支援**  
**代表取締役 石原直之 さん**  
**東京都国分寺市 第4種会員**

この度入会させていただきました、業務支援の石原直之と申します。

実はジェルコは前職のホームテック（1種会員）から生活者委員会-広報渉外委員会と参加しておりました。

前職を卒業し個人事業として心機一転の参加です。よろしくお願いたします。

### ■ ジェルコ支部所在地 ■

#### 北海道支部事務局

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-3-2 佐藤ビル 3F  
Tel:03-5541-6051 / Fax:03-5541-0128

#### 東北支部事務局 (株)感動ハウス

〒990-0074 山形県山形市芳野 64 番地  
Tel:023-641-9585 / Fax:023-632-3865

#### 関東甲信越支部事務局

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-3-2 佐藤ビル 3F  
Tel:03-5541-6051 / Fax:03-5541-0128

#### 中部北陸支部事務局 (株)リビング春日井

〒486-0807 愛知県春日井市大手町 3-14-13  
Tel:0568-82-8717 / Fax:0568-82-8723

#### 近畿支部事務局 (有)ミオ・デザイン

〒657-0846 兵庫県神戸市灘区岩屋北町 1-5-20  
Tel:078-801-2537 / Fax:078-801-2538

#### 中国四国支部事務局 (株)やまもと住研

〒737-0823 広島県呉市海岸 1-4-3  
Tel:0823-25-7404 / Fax:0823-25-7404

#### 九州支部事務局 B's Plan

〒820-0004 福岡県飯塚市新立岩 2-13  
Tel:0948-22-2929 / Fax:0948-52-6470

#### 沖縄支部事務局 (有)サニマイト

〒901-2215 沖縄県宜野湾市真栄原 3-11-14  
Tel:098-898-6444 / Fax:098-897-6696